

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	論理学	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	29
				試験時間	1
科目目標	<p>1. 論理的なものの見方、表現する力を養う。</p> <p>2. 物事を論理的に思考し、客観的に評価できるものの見方、考え方、表現力、伝達力を習得する。</p> <p>3. 論理的な文章を書くための方法を学び、物事を論理的に思考し、客観的に論評できるものの見方・考え方を養う。</p>				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 「文の七原則」				対面講義
2～4回	2. 論理的記述法				対面講義
5回	1) 論文の構成と組み立て				対面演習
	2) 論文の内容の基本				
6～14回	3) 論文の読み方と活用				対面演習
	3. 引用練習				
15回	4. 悪文 書き改め				対面講義
	5. 意見文、資料文の分析				
	1) 道筋を立てた表現の仕方				
	2) 論理的な発言の基礎				
	3) 論理的に話すための用語				
	テスト・まとめ				対面試験
テキスト	看護教育の発想 看護の科学社 作文の論理・文章をどう書くか (学校より貸与)				
評価方法	筆記試験・小テスト・意見文と授業の参加度・授業中の提出物				
備考	原稿用紙 (A 4. 縦書き 400 字詰め) 各自毎回持参 8 月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	情報科学	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	30
				試験時間	課題
科目目標	1. 情報科学の基礎理論を学び、人と情報社会との関係を理解する。 2. 医療・看護をとりまく情報システムについて理解できる。 3. 基本的なコンピューターの操作ができる。 4. 情報の収集・蓄積・分析の能力を身につけ、情報の整理と活用の基礎を学ぶ。 5. 一般的な統計の概念、統計の方法について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. コンピューターの基本構成要素、基本操作				対面講義
2・3回	2. 個人情報の保護 3. Microsoft Word を用いて文書を作成する技術を習得する。 ・キーボード入力 ・文書の作成				対面講義 対面演習
4～6回	4. Microsoft Excel を用いてデータ処理の技術を習得する。 ・表計算とデータ処理 ・データの表示形式				対面講義 対面演習
7回	5. Excel を用いた看護統計の基礎 (記述統計、相関係数、T検定)				対面講義 対面演習
8～12回	6. プレゼンテーションソフト PowerPoint を用いて発表資料の作成技術と発表技術を習得する。 ・プレゼンテーション資料の作成 ・プレゼンテーション				対面演習
13回	7. Microsoft Word・Excel 課題作成 8. ICTセキュリティ				対面演習
14・15回	・ウイルス感染経路、ウイルス対策、ウイルス対策ソフト ・医療情報のセキュリティ				対面講義
テキスト	なし				
評価方法	講義毎の演習課題 60%、最終レポート 40%				
備考	毎回コンピューター室を使用する。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	教育学	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	2	講義時間	30
				試験時間	課題
科目目標	1. 教育の意義を理解する。 2. 教育の変遷を知り、現在の教育の在り方を理解する。 3. 教育の方法を理解する。 4. 教育評価の方法を理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1～2回	ガイダンス 1. アクティブラーニングの意義と本授業の進め方 2. 教育評価の目的・方法と本授業の評価 3. 生涯学習の基本概念、教育・学習と自己形成 4. 課題解決型の相互学習				1,2 対面講義
3～4回	5. 日本における識字問題と成人基礎教育				3,4 自宅学習 (課題)
5～6回	6. 基本的人権としての教育・学習				5 対面講義
7～10回	7. 看護と教育(看護師が行う患者教育など)				6 オンライン
11・12回	8. 成人教育の基礎理論				7 オンライン
	9. 環境問題と教育 「水俣病を伝える」活動からみた教育の意義と役割				8 自宅学習 (課題)
13～15回	10. 社会教育(公民館)の意義と役割、教育評価と成人の学習				9～12 オンライン
	11. 社会教育における障がい者や青年の学び				13～15 オンライン (公民館見学)
	12. 公民館における学びと社会教育職員の役割				
参考書	太田堯「教育とは何か」岩波新書 1990年 上田幸夫・辻浩編著「現代の貧困と社会教育—地域に根ざす教育」 国土社 2009年				
評価方法	講義毎の演習課題 60%、平常点(グループワークの取り組み方など) 20%、 最終レポート 20%				
備考	校外授業として最終日に社会教育施設(国立市公民館)見学を実施し、生涯学習の実際に触れる。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	倫理学	単位数	1	授業時間	15
担当者	講師	学年	1	講義時間	14
				試験時間	課題
科目目標	1. 人間尊重の精神に基づき、人間としてのあり方生き方について理解を深める。 2. 物事の善悪、道徳、価値について学び、行動欲求の規範となるものへの理解を深め、相手を尊重し、倫理に基づいた行動がとれる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. 倫理学の基礎概念 1) 倫理学とは 2) 規範とは 3) 道徳とは				対面講義
3回	2. 医療と倫理				対面講義
4回	3. 医療倫理の四原則				対面講義
	4. 人間の行為規範 1) 快楽、幸福、非快楽、利己、利他、功利主義 2) 一般的倫理原則、自律尊重、善行、無危害、公正・正義				
5回	5. 徳と義務				対面講義
6回	6. バイオエシックスの成立				対面講義
	7. 死と医療				対面講義
	8. 終末期医療と倫理				
7回	9. 医療の水準と安全文化 医療事故と安全				対面講義
テキスト	なし				
評価方法	レポート				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	社会学	単位数	1	授業時間	15
担当者	講師	学年	1	講義時間	14
				試験時間	1
科目目標	1. 社会的存在としての人間を理解する。 2. 家族の機能について理解する。 3. 社会の構造・機能や変化を通して、個人・家族・集団の関係を多角的に学ぶ。 4. より良い社会の形成や生活の向上を考えて看護が展開できる能力を養う。 5. 世界の様々な民族の社会・文化を学び、自らの文化を考え、自己と他者の理解を深める。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 概論～集団・組織・制度、相互行為、規範、地位・役割 1) 社会学的に分析するための方法・考え方 2) 社会学的想像力を持つ意味 3) 社会化の種類・プロセス				対面講義
2～5回	2. 家族・性（生殖・性差） 1) 近代家族の特徴・機能と変化、現代家族をめぐる今日的課題 3) 生殖補助医療と家族の多様化 3. 社会福祉、階層・格差、社会資源、子ども論・障害/障害者・高齢者論 1) 社会的弱者の意味を社会学的に検討 2) 現代家族の機能や家族形態の多様化				対面講義
6・7回	4. 文化、地域、国際化、情報化 1) 文化の概念とその内容 2) 地域の概念、今日的役割 3) 情報化、大衆消費社会の変遷と今日的な諸問題 5. 医療、健康概念、社会学的患者論 1) 専門職、患者、健康/病期/障害などの概念 2) 医療者－患者関係の特徴 6. 専門職の社会的役割 1) 官僚制の特徴 2) 自らが目指す看護者像				対面講義
参考書	浅野智彦著「図解 社会学のことが面白いほどわかる本」2002年 「考える力が身につく社会学入門」2010年				
評価方法	筆記試験（①講義で取り上げた概念の説明、②事前に示した課題文について内容理解および批判的検討に、講義内で実施するショートレポートの結果を加味して総合的に評価する。）				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	人間関係論	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	30
				試験時間	課題
科目目標	1. コミュニケーションの基礎を理解し、人間関係を円滑にするための技術を習得する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. 心の発達・成長と人間関係				対面講義
3・4回	2. 自己理解・他者理解 3. 信頼関係の成立 1) 他者受容				対面講義
5・6回	4. コミュニケーション能力 1) アサーティブ 2) アグレッシブル				対面講義
7回	5. 怒りのセルフコントロール				対面講義
8～14回	6. 援助的人間関係 7. コミュニケーションエクササイズ				対面講義
15回	8. カウンセリング演習				対面演習
	9. 受容力・理解力・会話力のポイント				対面講義
テキスト	なし				
評価方法	毎回の出席コメント、最終レポート				
備考	研修棟で映像を鑑賞する。 8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	英語	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	2	講義時間	29
				試験時間	1
科目目標	1. 日常の診療および看護における基礎的な英会話を習得する。 2. 医療・看護に関する文献や資料・基礎的な医学用語が理解できる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1～14回	1. 臨床の看護場面で頻出する英語表現の学習（リスニング・スピーキング）医学用語 2. 基礎的な英文の看護文献の読解				対面講義
15回	テスト・まとめ				対面試験
テキスト	知念クリスティーン・上瀧紀恵著：クリスティーンのやさしい看護英会話 医学書院				
評価方法	筆記試験（小テスト 1.2 終講試験）				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	心理学	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	30	講義時間	29
				試験時間	1
科目目標	1. 人間の心の仕組みや、状況によって変化する心と様態を学ぶ。 2. 自己の理解を深め、自己成長・人格形成をはかり、対象の心理的援助および指導に活かすようにする。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 心理学とは 1) 心の動き 2) 心と行動のメカニズム				対面講義
2～10回	1. 心理学の基本概念 1) 知覚の心理 2) 記憶の心理 3) 発達心理 4) 学習の心理				対面講義
11・12回	1. 発達心理 2. 人格へのアプローチ 1) 心理・発達・知能・人格検査 2) カウンセリング				対面講義
13・14回	1. 防衛機制				対面講義
15回	テスト・まとめ				対面試験
参考書	系統看護学講座 心理学 医学書院 看護学生のための心理学 医学書院				
評価方法	筆記試験 意見文と授業の参加度				
備考	講義のほかに適宜ワークショップを行い、実践的に心理学に触れる予定 8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				



実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	解剖生理学	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	29
				試験時間	1
科目目標	1. 人体の発生、構成について知り、人間の生命現象について理解する。 2. 系統的に人体の構造と機能を理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. 解剖生理学総論 1) 人体の発生と老化 2) 細胞・組織、器官 3) 皮膚・膜、支持・筋・神経組織 4) 血液・体液・電解質 5) 感染防御と免疫反応 6) ホメオスタシス				1～12 自宅学習 (課題) オンデマンド併用
3～14回	2. 骨格・筋の構成と機能 3. 消化器系の解剖・生理 4. 呼吸器系の解剖・生理 5. 腎臓・泌尿器系の解剖・生理 6. 生殖器系の解剖・生理 7. 発生学 8. 内分泌系の形態・生理 9. 循環器系の形態・生理 10. 中枢神経系・末梢神経系の解剖・生理 11. 感覚器の解剖・生理				13,14 対面講義
15回	テスト・まとめ				15 対面試験
テキスト	系統看護学講座 人体の構造と機能① 解剖生理学 医学書院				
評価方法	筆記試験、授業参加状況および課題等で評価				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療 ( 総論 )	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	16
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. さまざまな疾病をもたらす身体内部の変化を理解する。 2. 老化・死についての人体の変化を理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. 病気と病理学				対面講義
3・4回	2. 細胞に生じる異常				対面講義
	3. 組織・細胞に生じる異常と再生修復				
5・6回	4. 循環障害				対面講義
	5. 炎症				
7・8回	6. 免疫とその異常				自宅学習 (課題)
	7. 代謝障害				
	8. 腫瘍				
テキスト	疾病の成り立ちと回復の促進① 病理学 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 60点/100点				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療 (総論・手術療法)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	10
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. さまざまな機能障害を治療するときに共通する外科的療法と麻酔法について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 今日の手術療法と周手術期看護の役割				対面講義
2回	2. 手術療法と生体反応 1) 手術療法の目的と種類 2) 手術侵襲と生体反応 3) 手術に伴う生体反応からの回復				対面講義
3回	3. 手術と麻酔 1) 麻酔導入から、維持、麻酔終了まで (1) 全身麻酔 (2) 局所麻酔				対面講義
4回	4. 術後合併症対策				対面講義
5回	5. 疼痛対策 6. 感染対策 7. ドレーンの管理				対面講義
テキスト	経過別成人看護学② 周術期看護 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 30点/100点				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療 (総論・放射線)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	4
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 治療として共通する放射線療法を理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 放射線とは何か 1) 放射線の種類と性質 2) 放射線の医学利用 3) 健康影響とその管理 2. 放射線診断 1) X線検査 2) CT検査 2) MRI検査 3) 血管撮影検査 4) RI検査				オンライン
2回	3. 放射線療法の特徴 1) 放射線療法に影響する因子 2) 放射線の照射方法 4. 放射線皮膚炎の予防法とケア方法				オンライン
テキスト	別巻 放射線診療と看護 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 10点/100点				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療 I (脳・神経)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	12
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 中枢神経系の疾患とその治療について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. 脳神経系の疾患の病態・診断・治療 1) 症状とその病態生理 (1) 意識障害 (2) 高次脳機能障害 (3) 運動機能障害 (4) 感覚機能障害 (5) 自律性のある機能の障害 (6) 頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア (7) 髄膜刺激症状				対面講義
3回	2) 検査・診察 (1) 神経学的診察 ・意識・運動系・反射系・感覚系・脳神経系・高次脳機能 (2) 画像検査 (3) 電気生理学的検査 (4) 脳脊髄液検査・生検				対面講義
4～6回	3) 治療・処置 (1) 外科的治療法 (2) 内科的治療法 4) 主な疾患 (1) 脳血管疾患：クモ膜下出血・脳出血・脳梗塞 (2) 脳腫瘍 (3) 頭部外傷 (4) 脊髄血管障害・髄膜炎・脳炎 (5) 末梢神経障害：ギランバレー症候群、単ニューロパチー 顔面神経麻痺、自律神経失調症 (6) 多発性硬化症 (7) 脳神経変性疾患：パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症				対面講義
テキスト	系統看護学講座 成人看護学⑦ 脳・神経 医学書院				
評価方法	筆記試験 40点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療 I (運動器)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	12
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 運動機能の障害とその治療について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 運動器の疾患の病態・診断・治療 1) 症状とその病態生理 (1) 疼痛 (2) 形態の異常 (3) 関節運動の異常 (4) 神経の障害 (5) 跛行				対面講義
2回	2) 検査・診察 (1) 計測 (2) 神経診察 (3) 画像検査 (4) 電気生理的検査 (5) 関節鏡検査				対面講義
3回	3) 治療・処置 (1) 保存療法 ・ギプス包帯法 ・副子 ・義肢、装具 ・牽引装置 (2) 理学療法と作業療法 (3) 手術療法				対面講義
4~6回	4) 主な疾患 (1) 骨折・脱臼・捻挫および打撲 (2) 脊髄損傷、抹消神経損傷 (3) 区画(コンパートメント)症候群 (4) 骨髄炎、関節リウマチ (5) 悪性骨腫瘍：骨肉腫 (6) 骨粗鬆症、腰痛 (7) 変形性関節症 (8) 筋ジストロフィー、重症筋無力症 (9) 脊椎疾患：椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症				対面講義
テキスト	系統看護学講座 成人看護学⑩ 運動器 医学書院				
評価方法	筆記試験 35点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療 I ( 眼 )	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	2
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 感覚機能の障害とその治療について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 眼の疾患の病態・診断・治療 1) 白内障 2) 緑内障 3) 網膜剥離 4) 網膜症				対面講義
テキスト	成人看護学⑫ 皮膚・眼 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 10点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療 I (耳鼻・咽喉)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	4
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 感覚機能の障害とその治療について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 耳鼻・咽喉の疾患の病態・診断・治療 1) 耳障害 (1) 突発性難聴 (2) メニエール病				対面講義
2回	2) 副鼻腔疾患 (1) 副鼻腔炎 3) 咽頭疾患 (1) 咽頭炎 (2) 扁桃炎 (3) 咽頭がん				対面講義
テキスト	成人看護学⑬ 耳鼻咽喉／歯 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 15点/100点				
備考					



実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療Ⅱ (呼吸器)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	10
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 呼吸機能の障害とその治療について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 呼吸器の疾患の病態・診断・治療 1) 主な検査 2) 主な治療				対面講義
2回	3) 呼吸器感染症 (1) 気管支炎 (2) 肺炎				対面講義
3回	4) 気道疾患 (1) 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) (2) 気管支喘息				対面講義
4回	5) 胸膜疾患 (1) 胸膜炎 (2) 気胸				対面講義
5回	6) 間質性肺疾患 (1) 間質性肺炎 7) 肺循環障害 (1) 肺血栓塞栓症 8) 肺腫瘍 (1) 肺がん				対面講義
テキスト	成人看護学② 呼吸器 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 35点/100点				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療Ⅱ (循環器)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	10
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 循環機能の障害とその治療について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 循環器の疾患の検査・診断・治療				オンライン
2回	1) うっ血性心不全				オンライン 対面講義
3回	2) 不整脈				
4回	3) 虚血性心疾患				オンライン
5回	4) 心臓弁膜症				
6回	5) 心筋疾患				対面講義
7回	6) 大動脈疾患				
8回	7) 末梢動脈疾患				対面講義
9回	8) 先天性疾患				
テキスト	成人看護学③ 循環器 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 35点/100点				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療Ⅱ (血液・造血器)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	10
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 造血機能の障害とその治療について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. 血液・造血器の疾患の病態・診断・治療 1) 赤血球系疾患 (1) 鉄欠乏性貧血 (2) 二次性(症候性)貧血 (3) 巨赤芽球性貧血と悪性貧血 (4) 溶血性貧血				対面講義
3・4回	2) 白血球系疾患 (1) 急性白血病 (2) 骨髄異形成症候群 3) リンパ増殖性疾患と類縁疾患 (1) 悪性リンパ腫 (2) 多発性骨髄腫				対面講義
5回	4) 出血性疾患 (1) 突発性血小板減少性紫斑病 (2) 血栓性 〃 (3) 播種性血管内凝固症候群				対面講義
テキスト	成人看護学④ 血液・造血器 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 30点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療Ⅲ (消化器)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	12
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 消化管及び消化機能の障害と治療について理解する。 2. 肝臓・胆嚢・膵臓の機能障害と治療について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1～3回	1. 食道・胃・十二指腸・腸・腹膜疾患の病態・診断・治療 1) 逆流性食道炎 2) 胃・十二指腸潰瘍 3) 胃がん 4) クロウン病、潰瘍性大腸炎 5) 大腸ポリープ 6) 大腸がん 7) イレウス 8) 腹膜炎				対面講義
3～5回	2. 肝・胆道・膵疾患の病態・診断・治療 1) 肝炎・肝硬変・肝がん 2) 胆管炎・胆嚢がん・胆管がん・胆石症 3) 膵炎・膵がん				対面講義
テキスト	成人看護学⑤ 消化器 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 40点/100点				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療Ⅲ (歯・口腔)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	4
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 栄養摂取の障害と治療について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 歯・口腔機能障害の病態・診断・治療 1) 摂食・嚥下障害				対面講義
2回	2. 歯・口腔の疾患の病態・診断・治療 1) 感染性歯周疾患 2) 舌がん				対面講義
テキスト	成人看護学⑬ 耳鼻咽喉／歯・口腔 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 10点/100点				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療Ⅲ ( 腎 )	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	6
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 腎・泌尿器系の機能障害と治療について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 腎臓の疾患の病態・診断・治療 1) 1次性糸球体疾患 (1) 急性腎炎症候群 (2) 急性糸球体腎炎 (3) 慢性腎炎症候群				対面講義
2回	2) 急性腎障害 (AKI)				対面講義
3回	3) 慢性腎障害 (CKD)				対面講義
テキスト	成人看護学⑦ 腎・泌尿器 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 25点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療Ⅲ (泌尿器)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	8
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 腎・泌尿器系の機能障害と治療について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 泌尿器の疾患の病態・診断・治療 1) 泌尿器の感染症 (1) 膀胱炎 (2) 腎盂腎炎				対面講義
2回	(3) 前立腺炎 2) 尿路結石症				対面講義
3回	3) 腎・尿路・男性生殖器の腫瘍 (1) 腎がん				対面講義
4回	(2) 膀胱腫瘍 (3) 前立腺がん				対面講義
テキスト	成人看護学⑦ 腎・泌尿器 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 25点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療Ⅳ (免疫・アレルギー)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	8
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 生体防御機能障害と治療について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. アレルギーの疾患の病態・診断・治療 1) アレルギーとは 2) 免疫反応 3) アレルギー反応に関する因子 アレルギー反応のしくみと分類				対面講義
3・4回	2. 免疫の疾患の病態・診断・治療 1) 自己免疫疾患 (1) 関節リウマチ (2) 全身性エリテマトーデス (3) シェーグレン症候群 2) 免疫低下に関連する疾患 (1) 敗血症 (2) HIV感染症				対面講義
テキスト	成人看護学⑨ 感染症／アレルギー・免疫／膠原病 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 30点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				



実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療Ⅳ (内分泌／栄養・代謝)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	12
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 体液調整機能の障害と治療について理解する。 2. 内分泌機能の障害と治療について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. 栄養・代謝の疾患の病態・診断・治療 1) 糖尿病 2) 脂質異常症 3) 高尿酸血症、痛風				対面講義
3・4回	2. 内分泌疾患の病態・診断・治療 1) 視床下部・下垂体疾患 (1) 先端巨大症 (2) クッシング症候群とクッシング病 (3) 下垂体腫瘍				対面講義
5・6回	2) 甲状腺疾患 (1) 甲状腺機能亢進症 (バセドウ病) (2) 甲状腺機能低下症 (クレチン症) (3) 慢性甲状腺炎 (橋本病) (4) 甲状腺腫瘍				対面講義
テキスト	成人看護学⑧ 内分泌／栄養・代謝 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 40点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療Ⅳ (皮膚・ハンセン病)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	10
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 生体防御機能の機能障害と治療について理解する。 2. ハンセン病と治療について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. ハンセン病概論				対面講義
2回	2. 皮膚の疾患の病態・診断・治療				対面講義
3回	1) 炎症性皮膚疾患				対面講義
	(1) 湿疹・皮膚炎				
	(2) アトピー性皮膚炎				
4回	(3) 蕁麻疹				対面講義
	2) 物理的原因による皮膚疾患				
	(1) 熱傷				
5回	(2) 凍傷				対面講義
	(3) 放射線皮膚炎				
	3) 感染性皮膚疾患				
	(1) 蜂窩織炎				
	(2) 疥癬				
	(3) 帯状疱疹				
	(4) 梅毒				
テキスト	成人看護学⑫ 皮膚・眼 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 30点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療V (分娩、産褥期)	単位数	1	授業時間	15
担当者	講師	学年	1	講義時間	4
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 生殖機能の障害と治療について理解する。 2. 妊娠・分娩・産褥の異常について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. 分娩期の生理 2. 無痛分娩 3. 産婦にみられる異常 1) 娩出力の異常 2) 産道の異常 3) 胎児の異常による分娩障害 4) 児頭骨盤不均衡 5) 分娩時の異常出血 6) 産科ショック 7) 帝王切開 4. 産褥の経過 5. 褥婦にみられる異常 1) 子宮復古不全 2) 産褥熱・産褥感染症 3) 血栓性静脈炎、深部静脈血栓症、肺血栓塞栓症 4) 乳房の異常 5) 産後の精神障害				対面講義
テキスト	系統看護学講座 母性看護学② 母性看護学各論 医学書院				
評価方法	筆記試験 30点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療V (婦人科)	単位数	1	授業時間	15
担当者	講師	学年	1	講義時間	4
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 生殖機能の障害と治療について理解する。 2. 妊娠・分娩・産褥の異常について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. 婦人科の疾患の病態・診断・治療 1) 性感染症 (STD/STI) 2) 子宮の疾患 (1) 子宮内膜症 (2) 子宮筋腫 (3) 子宮頸がん・子宮体がん (4) 絨毛がん 2) 卵巣の疾患 (1) 卵巣腫瘍 3) 更年期障害				対面講義
テキスト	成人看護学⑩ 女性生殖器 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 30点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療V (妊娠期)	単位数	1	授業時間	15
担当者	講師	学年	1	講義時間	4
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 生殖機能の障害と治療について理解する。 2. 妊娠・分娩・産褥の異常について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. 妊娠期の身体のしくみ 2. ハイリスク妊娠 3. 妊婦と胎児にみられる異常 1) 妊娠悪阻 2) 流産・早産 3) 胞状奇胎 4) 異所性(子宮外妊娠) 5) 妊娠高血圧症候群 6) 血液型不適合妊娠 7) 多胎妊娠 8) 前置胎盤 9) 常位胎盤早期剥離 10) 過期妊娠 11) 妊娠に特異的な母体の合併症 12) 胎児の形態異常・発育異常				対面講義
テキスト	系統看護学講座 母性看護学② 母性看護学各論 医学書院				
評価方法	筆記試験 30点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療V ( 乳腺 )	単位数	1	授業時間	15
担当者	講師	学年	1	講義時間	2
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 生殖機能の障害と治療について理解する。 2. 妊娠・分娩・産褥の異常について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 乳腺疾患の病態・診断・治療 1) 乳がん 2) 乳腺炎 3) 乳腺症 4) 乳腺繊維腺腫				対面講義
テキスト	成人看護学⑧ 内分泌/栄養・代謝 メヂカルフレンド社 経過別成人看護学② 周術期看護 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 10点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療VI ( 小児 )	単位数	1	授業時間	15
担当者	講師	学年	1	講義時間	14
				試験時間	1
科目目標	1. 小児に特有な健康障害と治療について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. 小児によくみられる疾患の病態・診断・治療 1) 先天異常 (1) 染色体異常：ダウン症候群 ターナー症候群とクラインフェルター症候群 (2) 遺伝病：血友病、筋ジストロフィー				対面講義
3～5回	2) 新生児の特徴と疾患 (1) 新生児の疾患、超低出生体重児の特徴 3) 呼吸器疾患 (1) 肺炎、クループ 4) 循環器疾患 (1) 先天性心疾患：心房(心室)中隔欠損症、ファロー四徴症 (2) 川崎病 5) 消化器疾患 (1) ヒルシュスプルング病、胆道閉鎖症、腸重積、鎖肛 6) 腎泌尿器疾患：ネフローゼ症候群 7) 血液疾患：白血病 8) 小児の感染症：ウイルス感染症と細菌感染症、麻疹等				対面講義
6・7回	9) 事故と外傷：頭部外傷、異物誤飲、熱傷、溺水 10) 神経・筋疾患：髄膜炎、てんかん 11) 内分泌・代謝疾患：I型糖尿病 12) アレルギー・免疫疾患：気管支喘息、食物アレルギー				対面講義
テキスト	系統看護学講座 小児看護学② 小児臨床看護各論 医学書院				
評価方法	筆記試験				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	疾病と治療Ⅶ ( 精神 )	単位数	1	授業時間	15
担当者	講師	学年	1	講義時間	14
				試験時間	1
科目目標	1. 精神障害とその治療について理解できる。 2. 精神領域で特有な検査について理解できる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 精神医療・看護の対象者：精神（心）を病むということ 1) 「精神（心）を病む」とはどういうことか 2) 精神障害とスティグマ 3) 精神障害をもつ人はどのようなことを経験し感じているか 4) 精神障害とともに生きる				対面講義
2回	2. 精神障害を持つ人の抱える症状と診断のための検査 3. 主な精神疾患/障害と治療法				対面講義
3回	1) 精神疾患/障害の診断基準・分類 2) 主な精神疾患/障害				対面講義
4回	(1) 神経発達症群/神経発達障害群 (2) 統合失調症スペクトラム障害 (3) 双極性障害および関連障害群 (4) 抑うつ障害群 (5) 不安症群/不安障害群 (6) 強迫症および関連症群/強迫性障害および関連障害群 (7) 心的外傷およびストレス因関連障害群 (8) 解離症群/解離性障害群				対面講義
5回	(9) 身体症状症および関連症群 (10) 食行動障害および摂食障害群				対面講義
6回	(11) 睡眠覚醒障害群 (12) 物質関連障害および嗜癖性障害群 (13) 神経認知障害群 (14) パーソナリティ障害群 (15) てんかん				対面講義
7回	3) 主な治療法 (1) 電気療法 (2) 電気けいれん療法 (3) リハビリテーション療法 (4) 精神療法				対面講義
テキスト	精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				



実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	栄養学 (生化学)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	10
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 栄養素の消化・吸収・代謝及び生理作用について学び、人間にとっての栄養素の意義及び健康障害時の食事療法の基本を理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 糖質とは 1) 細胞の構造 2) 糖質代謝 (1) 糖質の消化と吸収 (2) グルコースの分解 (3) 糖新生				対面講義
2回	2. 脂質とは 1) 脂質代謝 (1) 脂質の消化と吸収				対面講義
3回	3. タンパク質とは 1) タンパク質代謝 (1) タンパク質の消化と吸収				対面講義
4回	4. ビタミン・ミネラル 5. ホルモン中的作用				対面講義
5回	6. エネルギー代謝 7. 代謝障害				対面講義
テキスト	系統看護学講座 人体の構造と機能② 生化学 医学書院				
評価方法	筆記試験 40点/100点				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	栄養学	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	20
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 栄養素の消化・吸収・代謝及び生理作用について学び、人間にとっての栄養素の意義及び健康障害時の食事療法の基本を理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 人間栄養学と看護 1) 食事と食品 2) 日本人の食事摂取基準				1 対面講義
2回	2. 栄養ケア・マネジメント				2 対面講義
3回	3. 栄養状態の評価・判定				3 対面講義
4・5回	4. ライフステージと栄養 1) 乳児期・成人期 2) 妊娠期・高齢者				4.5 オンライン
6～8回	5. 臨床栄養 1) 各種疾患の食事療法				6 オンライン
9回	6. 健康づくりと食生活				7～9 対面講義
10回	テスト・まとめ				10 対面試験
テキスト	系統看護学講座 人体の構造と機能③ 栄養学 医学書院				
評価方法	筆記試験 60点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	微生物学	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	29
				試験時間	1
科目目標	1. 健康を脅かす微生物の基礎知識を学ぶ。 2. 感染症を起こす病原微生物について理解する。 3. 医薬品による健康障害を理解する。 4. 感染症その変貌を理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. 微生物学とは				1 対面講義
3・4回	2. 微生物の分類と特徴				2 自宅学習
	3. 細菌の構造				(課題)
5・6回	4. 滅菌と消毒				3 対面講義
	5. 化学療法とワクチン				4 自宅学習
7・8回	6. 感染源・感染経路				(課題)
	7. 人体防御機構への看護の視点				5 対面講義
9・10回	1) 人体の感染防御機能と免疫反応				6 自宅学習
	2) アレルギー疾患				(課題)
11・12回	3) 自己免疫疾患及び類縁疾患				7 対面講義
	4) 臓器移植				8 自宅学習
13・14回	8. 感染症対策				(課題)
	9. 細菌の代謝と発育				9.10
15回	1) 一般細菌				対面講義
	2) 特殊細菌				11.12
15回	3) 抗酸菌				対面講義
	4) 結核菌				13.14
15回	5) ハンセン病				対面講義
	10. DNAウイルス、RNAウイルス				15
15回	11. テスト・まとめ				対面試験
テキスト	疾病の成り立ちと回復の促進② 微生物学・感染制御学 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	薬理学	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	29
				試験時間	1
科目目標	1. 薬理学の基礎知識を理解する。 2. 健康障害に対する薬物療法の作用機序、人体への影響について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 薬理学とは				オンライン
2回	2. 薬に関する基礎知識				オンライン
3回	3. 生体機能と薬				オンライン
4回	4. 末梢神経系作用薬				オンライン
5回	5. 中枢神経系作用薬				オンライン
6回	6. 心・血管系に作用する薬				対面講義
7回	7. 血管作用薬				オンライン
8回	8. 呼吸器系作用薬				対面講義
9回	9. 肝・胆・膵治療薬				対面講義
10回	10. 内分泌・代謝作用薬				対面講義
11回	11. 抗感染症薬				対面講義
12回	12. 抗がん剤				対面講義
	13. 免疫抑制薬				対面講義
	14. 抗アレルギー薬				
	15. 抗炎症薬				
	16. 解熱鎮痛薬				
13回	17. 救急時の薬物				対面講義
	18. 漢方薬				
14回	薬理学まとめ				対面講義
15回	テスト・まとめ				対面試験
テキスト	疾病の成り立ちと回復の促進③ 薬理学 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	保健医療論	単位数	1	時間数	30
担当者	講師	学年	2	講義時間	14
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 医の変遷を学び、医の倫理に基づいた医療の役割を理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 医学・医療のあゆみ 1) 人類の誕生と文化の発達 2) 原始生活と病気・医術 3) 医療の原始的形態 4) 古代・中世の医学				対面講義
2回	5) 宗教医学かたの脱却と医学の近代化 6) 近代医学の基礎と臨床医学の近代化 7) 近代医学の発展—現代医療の基盤 8) 今後の医学・医療の方向				対面講義
3～5回	2. 現代医療における諸問題 1) 医療の進歩と医の倫理 2) 医療における患者の権利 3) 病状告知				対面講義
6回	4) 脳死と臓器移植				対面講義
7回	5) 死と生命保持、安楽死、死を共有する医療				対面講義
テキスト	健康支援と社会保障制度① 現代医療論 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 50点/100点				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	保健医療論	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	2	講義時間	16
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 医療の変遷を学び、医の倫理に基づいた医療の役割を理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. 健康と疾病 1) 健康の概念 2) 疾病 3) 生活と健康				対面講義
3・4回	2. 医学と医療				対面講義
5回	3. わが国の医療供給体制				対面講義
6回	まとめ				
7回	1. ハンセン病とその社会との関わりについて				対面講義
8回	テスト・まとめ				対面試験
テキスト	健康支援と社会保障制度① 現代医療論 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 50点/100点				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	公衆衛生	単位数	1	授業時間	15
担当者	講師	学年	2	講義時間	14
				試験時間	1
科目目標	1. 国民の健康に関する状況と生活環境を学び、人々が健康を享受するために望ましい制度や組織活動を理解するとともに医療専門職の役割を理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 公衆衛生の理解				対面講義
	1) 公衆衛生と公衆衛生学				
2回	2) 公衆衛生からみる人間の健康と環境				対面講義
3回	3) 人口統計と公衆衛生				対面講義
	4) 健康と保健統計				
4回	5) 疫学				対面講義
	6) 予防と健康保持増進				
5回	2. 保健活動				対面講義
	1) 地域保健				
	2) 母子保健				
6回	3) 成人保健				対面講義
	4) 高齢者保健福祉				
	5) 精神保健福祉				
7回	6) 難病、障害児・者保健福祉				対面講義
	7) 歯科保健				
	8) 学校保健				
	9) 産業保健				
	10) 健康危機管理・災害保健				
	11) 国際保健				
テキスト	系統看護学講座 健康支援と社会保障制度② 公衆衛生 医学書院				
評価方法	筆記試験				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	社会福祉	単位数	1	授業時間	15
担当者	講師	学年	2	講義時間	14
				試験時間	1
科目目標	1. 社会福祉と医療・社会保障の関連について理解し、生活者としての対象に必要な社会資源として看護に活用できる基礎を身につける。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 生活と社会福祉				対面講義
2～5回	2. 社会保所の概念・歴史・制度関係				対面講義
	3. 我が国の社会保険制度 1) 社会保険の役割と制度の分類 2) 医療保険制度 3) 高齢者医療保険制度 4) 保健医療制度 5) 医療提供体制と国民医療費 6) 介護保険制度 7) 年金保険制度 8) 労働保険制度				
6回	4. 社会福祉の歴史と援助技術 5. 社会福祉の諸制度と施策 1) 生活保護法 2) 児童福祉と施策 3) 障がい者の福祉施策 4) 高齢者の福祉施策				対面講義
7回	6. 社会福祉行政のしくみ 7. 社会保障制度の動向				対面講義
テキスト	系統看護学講座 健康支援と社会保障制度③ 社会保障・社会福祉 医学書院				
評価方法	筆記試験				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				



実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	関係法規	単位数	1	授業時間	15
担当者	講師	学年	2	講義時間	14
				試験時間	1
科目目標	1. 保健医療に関連する諸法規を学び、社会生活と法つながりを理解する。また、医療に関する法律を学び、看護師に必要な法規を理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 生活者の視点からみた少子高齢人口減少社会と社会保障と看護の役割				対面講義
2回	2. 利用者主役の社会保障の意義、理念、概念と範囲及び看護との関係				対面講義
3回	3. 社会保障の体系と各制度の概略・費用負担・社会保険と税の関係法				対面講義
4回	4. 医療提供体制と医療保険制度、介護保険制度に関する法の概要				対面講義
5回	5. 医療の法制度と看護師など人材確保、地域包括ケアとの関係				対面講義
6回	6. 生活保護、社会福祉サービス、児童手当など社会福祉関係法の意義				対面講義
7回	7. 利用者主役を実現するための社会保障の課題と看護の展望				対面講義
テキスト	系統看護学講座 健康支援と社会保障制度④ 看護関係法令 医学書院				
評価方法	筆記試験 60%、事前課題 10%、毎回の出席とミニレポート 30%				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	看護学概論	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	1	講義時間	29
				試験時間	1
科目目標	1. 看護の対象としての人間を身体的・精神的・社会的統一体として理解する。 2. 人間のライフサイクルにおける健康の意義について学ぶ。 3. 看護の本質を理解し、総合保健医療体系の中で、看護の概念を明確にする。 4. 保健医療福祉チームにおける看護の役割を理解し看護活動のありかたを学ぶ。 5. 看護の歴史を通して、現在の看護の位置づけ及び諸問題を理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	授業を始めるにあたって：学問をするとは 看護における技術とは				1 対面講義
2回	1. 看護の語源・看護の原点				2 自宅課題
3～4回	2. 看護の定義 1) 法の定義 2) 職能団体による定義 3) 理論による定義				3 自宅課題 4 自宅課題
5回	3. 看護の変遷 1) 職業としての看護の誕生と発展 2) わが国の職業的看護の発展				5 オンライン
6・7回	4. ナイチンゲールとヘンダーソンの言葉から学ぶ				6 オンライン
8・9回	5. 看護の対象としての人間 1) 生物体としての特性 2) 統合体としての人間 3) ストレスと適応				7 対面講義
10・11回	6. 健康の概念と定義 1) 健康のとらえ方 2) 国民全体の健康像 3) 健康への影響要因				8 対面講義 9 対面講義
12回	7. 看護の役割と機能 1) 看護の役割と機能とは 2) 看護が機能する場 3) 他職種連携				10 対面講義 11 対面講義
13・14回	8. 職業としての看護の新たな展開（これからの看護） 1) 看護職の担い手の拡大 2) 診療の補助業務の拡大 3) 高齢化への対応 4) 看護職のキャリア開発				12 対面講義
15回	9. 看護理論 1) 理論の理解と事例への活用				13 対面講義 14 自宅課題
	テスト・まとめ				15 対面講義
テキスト	基礎看護学① 看護学概論 メヂカルフレンド社				
参考書	フローレンス ナイチンゲール：看護覚え書き 日本看護協会出版会 ヴァージニア・ヘンダーソン：看護の基本となるもの 日本看護協会出版会 看護者の基本的責務－基本法と原理－ 日本看護協会 看護の本質 現代社				
評価方法	筆記試験 70点/100点 課題 30点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	看護倫理	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	2	講義時間	29
				試験時間	1
科目目標	<p>1. 看護者としての基本的責任を果たすため、看護者としてのあり方としての倫理を学ぶ。</p> <p>2. 人間尊重の精神に基づき人間としてのあり方、生き方について理解と思索を深め、倫理に基づいた行動がとれる能力を養う。</p>				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 看護倫理とは 1) 倫理とは 2) 看護倫理とは 3) 看護倫理の歴史				対面講義
2回	2. 看護研究の倫理 1) ヘルシンキ宣言の要点 2) 我が国の倫理指針 3) ケアの受け手を対象に研究を行う際の倫理的配慮 4) 倫理審査・利益相反				対面講義
3回	3. 看護の倫理原則 1) 善行と無害、自律、正義、誠実、忠誠 4. 看護実践上の倫理的概念 1) アドボカシー、ケアリング、責務、協力				対面講義
4回	5. 看護実践と倫理 1) 患者理解に基づく倫理的な看護実践 2) 専門職の倫理的判断の構造				対面講義
5・6回	6. 専門職の倫理				対面講義
7～9回	1) 専門職の倫理綱領 2) 事例検討 第1条～第6条 3) 看護業務基準と倫理実践 4) 保健師助産師看護師法と倫理				対面講義
10・11回	7. 学生が臨地実習で遭遇する倫理的問題 1) 事例検討				対面講義
12～14回	8. 倫理的問題へのアプローチ 1) 看護実践における倫理的問題の特徴 2) アプローチ方法 (1) Jonsen らの症例検討シート (2) トンプソン&トンプソンの意志決定モデル (3) サラ・フライの倫理的分析				対面講義
15回	テスト・まとめ				対面試験
テキスト	系統看護学講座 別巻 看護倫理 医学書院				
参考書	看護者の基本的責務－基本法と原理－ 日本看護協会				
評価方法	筆記試験				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	共通基本技術 (コミュニケーション・ 記録・報告)	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	1	講義時間	14
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 看護活動に共通する基本的看護技術を習得する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. コミュニケーションの技術 1) コミュニケーションとは 2) 対人プロセスとしての看護 3) 看護におけるケアリングとコミュニケーション 4) 看護理論とコミュニケーション 5) 看護とコミュニケーション 6) コミュニケーションのプロセスに影響する要因 7) 医療における信頼関係とコミュニケーション				オンライン
3・4回	2. 看護記録・報告 1) 看護記録に関する法的規定 2) 看護記録の目的と意義 3) 看護記録の構成要素 4) 看護記録の記載基準 5) 看護記録および診療情報の取り扱い 6) 看護学生の情報管理 7) 報告の方法と種類				対面講義  対面演習 (SOAP 記載) (経時記録)
5・6回	3. 教育指導技術 1) 看護の教育機能 2) 指導技術の基本となるもの 3) 指導の対象者と領域 4) 指導の進め方				対面講義
7回	テスト・まとめ				対面試験
テキスト	基礎看護学② 基礎看護技術 I メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 40点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	共通基本技術 (安楽確保・感染防止)	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	1	講義時間	16
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 看護活動に共通する基本的看護技術を習得する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 感染予防における看護師の責務と役割 2. 感染と感染予防の基礎知識 1) 感染の基礎知識 (1) 感染成立の仕組み (2) 主な伝播経路と病原体 2) 感染予防の基礎知識 (1) 感染予防策 (2) スタンダードプリコーション (3) 感染経路別予防策				対面講義
2回	標準予防策の技術 1. 課題プリント 1) 身だしなみ 2) 手指衛生 3) 個人防護用具 2. 個人防護用具 (ディスポキャップ・フェイスマスク・手袋・滅菌手袋・ディスポエプロン) 自己演習				自宅課題
3回	感染源の対策 1. 滅菌・消毒・洗浄の概念 2. 医療器材の洗浄・滅菌・消毒 感染経路の対策 1. 滅菌物の取り扱い 2. ゾーンニング				自宅課題
4回	感染経路の対策 1. 隔離法および感染源の拡散防止 1) 隔離法 2) 感染性廃棄物の取り扱い 3) 針刺し・切創・血液暴露事故防止 自宅学習 解説				対面講義
5回	安楽確保				自宅課題

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

<p>6・7回</p>	<p>1. 安楽確保の技術            1) 看護における安楽の意義            2) 安楽な体位の保持            3) 看護における力学とボディメカニクス            4) さまざまな安楽確保の技術                (1) 巻法</p> <p>無菌操作の技術            1. 滅菌物の取り扱い                1) 滅菌手袋                2) ガウンテクニック                3) 無菌操作</p>	<p>対面演習</p>
<p>8回</p>	<p>安楽確保の技術            1. 演習                1) 安楽な体位の保持 (ポジショニング)                    (1) ベッド上臥位                    (2) 臥位から側臥位                    (3) ファーラー位                2) ボディメカニクス</p>	<p>対面演習</p>
<p>テキスト</p>	<p>基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ メヂカルフレンド社            基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社            根拠と事故防止から見た 基礎・臨床看護技術 第2版 医学書院            映像資料：ナーシングチャンネル</p>	
<p>評価方法</p>	<p>筆記試験 60点 / 100点</p>	
<p>備考</p>	<p>自己学習項目            日常的手洗い 衛生的手洗い ラビング法            8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。</p>	

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	フィジカルアセスメント	単位数	1	授業時間	17
担当者	教官 ※	学年	1	講義時間	16
				試験時間	1
科目目標	1. 対象の系統的な観察、フィジカルイグザミネーション（身体診査）では五感を用いて対象の健康状態を診察する。 2. 身体的、心理的、社会的側面から把握し評価する技術を習得する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. フィジカルアセスメントの意義 2. 系統的アセスメントとフォーカスアセスメント 3. フィジカルアセスメントの基本技術 1) 主観的情報と客観的情報 2) 問診				対面授業
2回	1. フィジカルアセスメントの基本技術 1) フィジカルイグザミネーション				自宅学習
3回	1. 身体計測の方法 2. バイタルサイン 1)体温 2)呼吸				自宅学習
4回	1. バイタルサイン 1)脈拍 2)血圧 3)意識レベル				自宅学習
5回	1. 呼吸器系の問診 2. 胸部・肺のフィジカルイグザミネーション 1) 胸郭の視診 2) 胸郭の可動性の触診 3) 声音振盪の触診 4) 呼吸音 5) 打診による横隔膜の位置と可動域の測定				対面授業
6回	1. 循環器系の問診 2. 心臓・循環のフィジカルイグザミネーション 1) 視診による中心静脈圧の推定 2) 頸部動脈の触診 3) 心尖拍動の視診 4) アレンテスト 5) 爪床圧迫テスト 6) ホーマンズ徴候 7) 心音				対面授業
7回	1. 胸部の聴診				対面演習
8回	1. バイタルサイン測定				対面演習
9回	筆記試験・まとめ				対面試験
テキスト	看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 第1版,メディックメディア,2019. 新体系看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術I,メヂカルフレンド社,2020.				
評価方法	筆記試験				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	フィジカルアセスメント	単位数	1	授業時間	13
担当者	教官 ※	学年	1	講義時間	12
				試験時間	1
科目目標	1.対象の系統的な観察、フィジカルイグザミネーション（身体診査）では五感を用いて対象の健康状態を診察する。 2.身体的、心理的、社会的側面から把握し評価する技術を習得する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 乳房の構造と機能 2. 乳房の問診 3. 乳房・腋窩のフィジカルイグザミネーション 1) 乳房の視診 2) 乳房・腋窩・鎖骨リンパ節の触診の方法 4. 自己検診の方法 課題5月14日提出 解答とともに返却				自宅学習
2回	1. 腹部・消化器系の問診 2. 腹部・消化器系のフィジカルイグザミネーション 1) 腹部全体の視診 2) 腸蠕動音の聴診 3) 腹部の触診 (1) 反跳痛 (2) )肝臓の触診 (3)腹水の観察 4) 腎臓の叩打診				対面授業
3回	1. 体表解剖とは？ 2. 体表面のフィジカルイグザミネーション 3. 感覚系とは 4. 感覚系のフィジカルイグザミネーション 課題5月28日提出 解答とともに返却				自宅学習
4回	1. 脳神経系の機能と構造 2. 脳神経系のフィジカルイグザミネーション 1) 脳神経系の問診 2) 対光反射 3) 腱反射 4) 皮膚反射				対面授業
5回	1. 脳神経系のフィジカルアセスメント				対面授業



実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

<p>6回</p> <p>7回</p>	<p>1) ロンベルグ試験 2) 小脳機能検査</p> <p>2. 運動器系の機能と構造</p> <p>3. 運動系のフィジカルアセスメント</p> <p>1) 関節可動域(ROM)の測定</p> <p>2) 従手筋力検査(MMT)</p> <p>3) バレー徴候の観察</p> <p>4)</p> <p>腹部(消化器系)・乳房のフィジカルイグザミネーションの実際</p> <p>筆記試験・まとめ</p>	<p>学内演習</p> <p>対面試験</p>
<p>テキスト</p>	<p>フィジカルアセスメントがみえる VOL.3 第1版 メディックメディア 2019</p> <p>基礎看護学② 基礎看護技術 I メヂカルフレンド社</p>	
<p>評価方法</p>	<p>筆記試験</p>	
<p>備考</p>		

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	看護過程	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	1 学年	2	講義時間	30
				試験時間	課題
科目目標	1. 看護過程の基盤となる考え方が理解できる。 2. 看護過程の各段階の基本的な考え方を理解し、事例を展開できる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1 回	1. 看護過程とは 1) 看護過程の5つの構成要素、看護技術の位置づけ 2) 看護過程と問題解決・クリティカルシンキング・リフレクシオン・理論・倫理 3) 看護過程の基本的考え方				1 オンライン
2 回	2. 看護過程の各段階 1) 情報収集とアセスメント、アセスメントの枠組み ・観察、データ収集、データ分析				2 対面講義
3 回	課題：事例より情報収集、ゴードンの11パターンによるアセスメント				3 自宅課題
4 回	・課題解説				4 オンライン
5 回	2) 看護診断、(NANDA - I、カルペニート) 3) 関連図の目的、構成要素				5 対面講義
6 回	課題：事例よりアセスメントから看護診断 関連図				6 自宅課題
7 回	・課題解説				7 対面講義
8 回	4) 看護問題の優先順位、目標設定				8 対面講義
9 回	5) 看護計画、実施、評価 看護の連続性 課題説明：事例紹介				9 対面講義
10～	・課題解説				10 対面講義
15 回	・事例による看護過程展開 事例を用いた看護過程の展開				11 自宅課題 12～15 対面講義
テキスト	基礎看護技術 I メヂカルフレンド社 看護診断ハンドブック 第11版 医学書院 ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント (参考) 基礎看護技術 I 医学書院				
評価方法	課題				
備考	臨床検査値、薬剤を調べる資料は各自で準備 8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	日常生活援助技術 (生活環境)	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	1	講義時間	4
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 対象を生活者として捉え、日常生活行動の意義を理解し、根拠にもとづいた援助が実践できる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 環境の諸要素とその調整 1) プライバシーと環境整備 2) 換気と臭気の排除 3) 室温と湿度の保持 4) 騒音の原因と排除 5) 採光と照明 2. 病室と病床の環境調整 1) 病室の環境調整 2) 色彩と備品の調和 3) 病院で用いられる主なベッド 4) 寝具 5) ベッドメイキング				対面講義
2回	3. 臥床患者のシーツ交換				対面演習
テキスト	基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社 根拠と事故防止から見た 基礎・臨床看護総論 第2版 医学書院				
評価方法	筆記試験 20点/100点				
備考	自己学習項目 リネンのたたみ方 クローズドベッドの作成 オープンベッドの作成				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	日常生活援助技術 (食事と栄養)	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	1	講義時間	6
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 対象を生活者として捉え、日常生活行動の意義を理解し、根拠に基づいた援助が実践できる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 食事摂取の意義としくみ 1) 食事・栄養摂取の意義 2) 食事・栄養摂取のしくみ 2. 食事・栄養摂取のアセスメント 1) 栄養状態 2) 食事の摂取内容 3) 水分の摂取と排泄 4) 食事の質、食習慣 5) 食事動作 6) 食事を妨げる要因				自宅課題
2回	3. 患者への食事の援助 1) 食事の種類・形態 2) 経口摂取できる患者の食事介助 3) 治療食と食生活の指導 4. 経腸栄養 1) 経腸栄養とは 2) 経鼻胃チューブによる栄養摂取の援助 3) 胃瘻による栄養摂取				オンライン
3回	5. 経鼻胃チューブ挿入中の患者の看護 6. 経管栄養中の患者の看護				対面演習
テキスト	根拠と事故防止から見た 基礎・臨床看護技術 第2版 医学書院 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社 映像資料：ナーシングチャンネル				
評価方法	筆記試験 20点 / 100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				



実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	日常生活援助技術 (活動・休息)	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	1	講義時間	4
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 対象を生活者として捉え、日常生活行動の意義を理解し、根拠に基づいた援助が実践できる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 活動と休息 1) 人間と運動 2) 人間と休息 2. 活動のアセスメント 1) 廃用症候群とそのリスクアセスメント 2) 運動機能のアセスメント 3) 運動機能の維持・回復のための援助 3. 運動機能の低下した人の援助 4. 安静保持の援助 5. 睡眠の援助				対面講義
2回	6. スライディングシートによるストレッチャーへの移乗・移送				対面演習
テキスト	基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社 根拠と事故防止から見た 基礎・臨床看護技術 第2版 医学書院				
評価方法	筆記試験 20点/100点				
備考	自己学習項目 歩行介助 車いす移乗・移送				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	日常生活援助技術 (清潔・衣生活)	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	1	講義時間	10
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 対象を生活者として捉え、日常生活行動の意義を理解し、根拠に基づいた援助が実践できる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 清潔と衣生活の意義 2. 清潔と衣生活に影響する要因 3. 清潔と衣生活の援助 4. 清潔行動・衣生活の自立困難な人への援助 1) 入浴 2) 手浴・足浴 3) 陰部洗浄 4) 全身清拭 5) 洗髪 6) 口腔ケア 7) 整容 8) 衣生活				対面講義
2・3回	5. 全身清拭				対面演習
4回	6. 陰部洗浄				対面演習
5回	7. DIV・ドレーン等を留置している患者の寝衣交換				対面演習
テキスト	基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社 根拠と事故防止から見た 基礎・臨床看護技術 第2版 医学書院				
評価方法	筆記試験 20点/100点				
備考	自己学習項目 手浴 足浴 寝衣交換 洗髪 8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	臨床看護総論 (与薬・輸液・検査)	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	1	講義時間	20
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 診療と検査、穿刺・意義、目的を理解し診察・検査・処置を受ける患者への看護技術を習得する。 2. 与薬の意義、目的を理解し与薬を受ける患者への看護技術を習得する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 与薬に関する基礎知識 1) 薬物療法の理解 2) 薬物療法における看護師の役割 3) 薬物療法を受ける患者の援助				対面講義
2・3回	2. 経口与薬法 3. 外用薬の皮膚・粘膜適用 4. 注射法 1) 注射の基礎知識 2) 皮下注射 3) 皮内注射 4) 筋肉注射 5) 静脈内注射 6) 点滴静脈内注射				対面講義
4回	5. 輸血療法 6. 検査に伴う看護の役割 1) 検体検査    2) 生体検査				対面講義
5・6回	7. 採血法				対面演習
7・8回	8. 筋肉注射 (薬液の吸い上げを含む)				対面演習
9回	9. 点滴静脈内注射 (刺入部の固定を含む)				対面演習
10回	テスト・まとめ				対面試験
教科書 参考書	基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社 基礎看護学④ 臨床看護総論 メヂカルフレンド社 根拠と事故防止から見た 基礎・臨床看護技術 第2版 医学書院				
評価方法	筆記試験 60点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				



実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	臨床看護総論 (手術療法・ME 機器)	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	1	講義時間	10
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 診療と検査、穿刺・意義、目的を理解し診察・検査・処置を受ける患者への看護技術を習得する。 2. 与薬の意義、目的を理解し与薬を受ける患者への看護技術を習得する。				
回	授業時間・学習内容				授業形態
1～3回	1. 手術療法と看護 1) 手術に伴う生体反応 2) 術後の疼痛 3) 麻酔が及ぼす影響 4) 周術期の患者の看護				対面講義
4回	2. 集中治療と看護 1) 集中治療が患者に及ぼす影響 2) 生命維持の援助				対面講義
5回	3. ME 機器と看護 1) 医療機器の種類 2) 医療機器の安全管理 4. 酸素ポンペ・シリンジポンプ・輸液ポンプの取り扱い				対面演習
テキスト	経過別成人看護学② 周術期看護 メヂカルフレンド社 基礎看護学④ 臨床看護総論 メヂカルフレンド社 基礎・臨床看護技術 医学書院				
評価方法	筆記試験 40点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	看護研究	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	2	講義時間	29
				試験時間	1
科目目標	1. 看護研究の意義・目的・方法がわかる。 2. 看護研究に伴う倫理について理解できる。 3. 看護実践の意味づけができ、ケーススタディとしてまとめることができる。 4. 研究発表の方法を理解しケーススタディの発表ができる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 研究とは 1) 定義と意義                      2) 看護研究と看護理論				対面講義
2回	2. 看護プロセスと研究課題の明確化				対面講義
3回	3. 文献の活用 1) 文献検索の方法              2) 文献の種類 3) 文献の読み方、整理の仕方				対面講義
4回	4. 研究デザインと研究手法 1) 研究デザインとは            2) 研究デザインの種類と選択				対面講義
7回	5. 具体的な研究の進め方				対面講義
8回	1) 研究計画書の作成          2) データ収集の仕方 3) データの整理と分析        4) 妥当性と信頼性				対面講義
6回	6. レベルⅠ・Ⅱ・Ⅲの研究計画書				対面講義
9回	7. プレゼンテーションの方法 1) 発表の種類                  2) 口頭発表の準備 3) 発表原稿・発表資料の作成				対面講義
10回	8. クリティーク				対面演習
11回	9. 研究計画書の作成				対面講義
5回	個人ワーク（看護大学の図書館を利用する）				自宅課題
12～14回	個人ワーク				対面演習
15回	テスト・まとめ				対面試験
テキスト	JJN スペシャル看護研究の進め方論文の書き方 第2版 医学書院				
参考書	黒田裕子の看護研究 step by step 第5版 医学書院 これからの看護研究－基礎と応用－ ヌーヴェルヒロカワ				
評価方法	筆記試験 70点/100点、研究計画書 30点/100点				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	成人看護学概論	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	1	講義時間	29
				試験時間	1
科目目標	1. 成人看護の対象を理解できる。 2. 成人を取り巻く社会状況・生活、健康に及ぼす影響を考えることができる。 3. 成人期にみられる健康問題の発生機序を理解し、対処の仕方・より健康な生活を進めていく必要性がわかる。 4. 成人保健の動向、保健・医療・福祉システムとの関係性が理解できる。 5. 健康段階別にみた成人特有の健康問題の特徴・看護を理解できる。 6. 成人期の看護を実践のために必要とされる看護の基本について理解できる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1.成人看護の対象理解 1)「成人」の定義 2)成長・発達過程からみた成人の特徴				対面講義
2回	2. 成人を取り巻く社会環境と成人の生活 1) 働くことと生活 2) 家族との関係 3) ライフスタイル				対面講義
3回	3. 成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策 1) 成人の保健統計				対面講義
4・5回	2) 成人各期に特徴的な健康問題				GW・発表 対面講義
6回	3) 成人を対象とした保健・医療・福祉政策				
7回	4. 健康障害をもつ成人にかかわる際の基本的な視点 1) 患者・家族の意思決定				対面講義
8・9回	2) 健康の危機状況への適応 (1) ストレスとコーピング (2) 危機理論				対面講義
10・11回	3) 健康行動への行動変容 (1) 自己効力 (2) アンドラゴジー (3) エンパワーメント (4) 病みの軌跡				対面講義
12・13回	5. 成人の健康状態に応じた看護 1) 急性期看護 2) 慢性期看護 3) リハビリテーション看護 4) 終末期看護 5) がん看護				対面講義
14回	6. 地域・在宅への継続医療と看護 1) 療養の場 2) 退院支援 3) 退院後の看護				対面講義
15回	テスト・まとめ				対面試験
テキスト	成人看護学① 成人看護学概論 成人保健 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	成人看護方法論 I (循環器)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	8
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 循環器系、呼吸器系、消化器系、内分泌・代謝系に障害をもつ成人およびその家族への看護の方法を学ぶ。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 循環器疾患患者の看護 1) 看護の基本 (1) 循環器疾患の心身に及ぼす影響 2) 主な症状に対する看護 (1) 胸痛 (2) 呼吸困難 (3) 動悸 (4) 浮腫 (5) ショック (6) チアノーゼ (7) 失神 (8) 四肢の疼痛				対面講義
2回	2. 循環器疾患をもつ患者の看護 1) 不整脈患者の看護 (1) 不整脈とは (2) 症状 (3) 主な検査・治療・処置に伴う看護 ①心電図 ②ペースメーカー ③血栓溶解療法				対面講義
3回	2) 虚血性心疾患患者の看護 (1) 虚血性心疾患とは (2) 症状 (3) 主な検査・治療・処置に伴う看護 ①心臓カテーテル ②経皮的冠動脈インターベンション ③冠動脈バイパス				対面講義
4回	3) 心不全患者の看護 (1) 心不全とは (2) 症状 (3) 主な検査・治療・処置に伴う看護 ①心臓超音波検査 ②BNP 検査 ③大動脈バルーンパンピング				対面講義
テキスト	成人看護学③ 循環器 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 25点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	成人看護方法論 I (呼吸器)	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	1	講義時間	8
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 循環器系、呼吸器系、消化器系、内分泌・代謝系に障害をもつ成人およびその家族への看護の方法を学ぶ。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 呼吸器疾患患者の看護 1) 看護の基本 (1) 呼吸疾患と看護の役割 2) 主な症状に対する看護 (1) 呼吸困難 (2) 咳嗽、喀痰 (3) 血痰、咯血 (4) 胸痛 2. 呼吸器疾患をもつ患者の看護 1) 自然気胸患者の看護 (1) 気胸とは (2) 症状 (3) 主な検査・治療・処置に伴う看護 ①胸腔ドレナージ				対面講義
2回	2) COPD (慢性閉塞性肺疾患) 患者の看護 (1) 慢性閉塞性肺疾患とは (2) 症状 (3) 主な検査・治療・処置に伴う看護 ①呼吸機能検査 ②血液ガス分析 ③酸素療法 ④薬物療法 ⑤非侵襲的陽圧換気療法 ⑥在宅酸素療法 ⑦呼吸リハビリテーション				対面講義
3回	3) 気管支喘息患者の看護 (1) 気管支喘息とは (2) 症状 (3) 喘息強度の分類 (4) 主な検査・治療・処置に伴う看護 ①ピークフロー ②薬物療法 ③吸入療法 ④人工呼吸療法				対面講義
4回	4) 肺がん患者の看護 (1) 肺がんとは (2) 症状 (3) 組織型、病期分類 (4) 主な検査・治療・処置に伴う看護 ①腫瘍マーカー ②内視鏡検査 ③胸腔穿刺 ④手術療法 ⑤放射線療法 ⑥化学療法				対面講義
テキスト	成人看護学② 呼吸器 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 25点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	成人看護方法論Ⅰ (消化/内分泌/栄養・代謝)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	14
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 循環器系、呼吸器系、消化器系、内分泌・代謝系に障害をもつ成人およびその家族への看護の方法を学ぶ。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 消化器疾患患者の看護 1) 看護の基本				対面講義
2回	2. 主な症状に対する看護 1) 消化器疾患：食欲不振、嚥下障害、悪心・嘔吐、下痢、便秘、吐血・下血、腹痛、腹部膨満 2) 肝・胆・膵疾患：黄疸、腹水、肝性脳症、胃・食道静脈瘤				対面講義
3回	3. 主な検査・治療に伴う看護 1) 主な検査に伴う看護 2) 主な治療・処置に伴う看護				対面講義
4・5回	4. 消化器疾患をもつ患者の看護 1) 食道がん 2) 胃がん 3) 肝がん 4) 結腸・直腸がん				対面講義
6回	5. 内分泌疾患患者の看護 1) 看護の基本 6. 主な症状に対する看護 顔貌の変化、頭部・頸部・四肢などの変化、体系的特徴の変化、皮膚の変化、性徴・外性器の変化、精神状態の行動の変化				対面講義
7回	7. 主な検査・治療に伴う看護 8. 内分泌疾患をもつ患者の看護 1) 甲状腺疾患患者の看護 2) 乳房疾患患者の看護 9. 糖尿病患者の看護				対面講義
テキスト	成人看護学⑤ 消化器 メヂカルフレンド社 成人看護学⑧ 内分泌/栄養・代謝 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 50点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	成人看護方法論Ⅱ (がん看護)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	6
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 運動機能障害、脳神経系、血液・造血器系、アレルギー・感染症、腎・泌尿器系に障害をもつ成人およびその家族への看護の方法を学ぶ。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. がん看護学の概念 1) 日本におけるがん医療・看護の歩みと展望 2) がんと共に生きる患者と家族への支援 2. がん医療における倫理的課題 3. 緩和ケア 1) 全人的苦痛の理解 2) 家族ケア 3) チームアプローチ				対面講義
2回	4. 症状マネジメント 1) 疼痛 2) 嘔気・嘔吐 3) 食欲不振 4) 倦怠感 5) リンパ・下肢浮腫				対面講義
3回	5. 治療に伴う看護 1) 化学療法 2) 分子標的療法・免疫療法 3) 放射線療法 4) 補完療法				対面講義
テキスト	がん看護学 第2版 臨床に活かすがん看護の基礎と実践 ヌーベルヒロカワ				
評価方法	筆記試験 15点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	成人看護方法論Ⅱ (血液・造血器)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	2
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 運動機能障害、脳神経、血液・造血器系、アレルギー・感染症、腎・泌尿器系に障害をもつ成人およびその家族への看護の方法を学ぶ。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 血液・造血器疾患患者の看護 1) 看護の基本 2. 主な症状に対する看護 貧血、出血傾向、白血球減少 3. 主な検査・治療に伴う看護 1) 造血幹細胞移植の看護 4. 血液・造血器疾患をもつ患者の看護 1) 再生不良性貧血 2) 急性骨髄性白血病 3) 悪性リンパ腫				対面講義
テキスト	成人看護学④ 血液・造血器 メヂカルフレンド社 がん看護学 第2版 臨床に活かすがん看護の基礎と実践 ヌーベルヒロカワ				
評価方法	筆記試験 5点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				



実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	成人看護方法論Ⅱ (免疫・アレルギー／膠原病／ 腎・泌尿器／女性生殖器)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	14
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 運動機能障害、脳神経系、血液・造血管系、アレルギー・感染症、腎・泌尿器系に障害をもつ成人およびその家族への看護の方法を学ぶ。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 腎・泌尿器疾患患者の看護 1) 看護の基本 2. 主な症状に対する看護 浮腫、脱水、電解質バランス、貧血、かゆみ、排尿困難・尿閉、尿失禁				対面講義
2回	3. 主な検査・治療に伴う看護				対面講義
3回	4. 腎・泌尿器疾患をもつ患者の看護 1) 慢性腎臓病 (CKD) 2) 前立腺がん 3) 腎・尿管結石 4) 膀胱腫瘍				対面講義
4回	5. 女性生殖器疾患患者の看護 1) 看護の基本 6. 主な症状に対する看護 月経異常、帯下異常、異常性器出血、骨盤内疼痛、排尿障害 外陰部搔痒感、下腹部膨隆				対面講義
5回	7. 主な検査・治療に伴う看護 8. 女性生殖器疾患をもつ患者の看護 1) 子宮筋腫 2) 子宮がん 3) 子宮内膜症				対面講義
6回	9. 膠原病をもつ患者の看護 1) 関節リウマチ 2) 全身性エリテマトーデス 3) シェーグレン症候群				対面講義
7回	10. アレルギー性疾患をもつ患者の看護 1) 蕁麻疹 2) アレルギー性鼻炎 3) アナフィラキシーショック				対面講義
テキスト 参考書	成人看護学⑦ 腎・泌尿器 メヂカルフレンド社 成人看護学⑨ 感染症 アレルギー・免疫 膠原病 メヂカルフレンド社 成人看護学⑩ 女性生殖器 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 50点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	成人看護方法論Ⅱ (運動器/脳神経)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	8
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 運動機能障害、脳神経系、血液・造血器系、アレルギー・感染症、腎・泌尿器系に障害をもつ成人およびその家族への看護の方法を学ぶ。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 運動器疾患をもつ患者の看護 2. 主な症状に対する看護 1) 疼痛 2) 区画症候群とフォルクマン拘縮 3) クラッシュシンドローム 4) 深部静脈血栓症 5) 神経障害				対面講義
2回	3. 運動器疾患をもつ患者の看護 1) 大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折 2) 腰痛 3) 脊髄損傷 4) 変形性関節症(人口関節置換術後)				対面講義
3回	4. 脳・神経系に疾患をもつ患者の看護 5. 主な症状・障害に対する看護 1) 意識障害 2) 高次脳機能障害 3) 運動麻痺 4) 運動失調・不随意運動 4) 痙攣 5) 頭蓋内圧亢進				対面講義
4回	6. 治療・処置を受ける患者の看護 1) リハビリテーション 7. 脳神経疾患をもつ患者の看護 1) クモ膜下出血 2) 脳梗塞 3) パーキンソン病				対面講義
テキスト	系統看護学講座 運動器 成人看護学⑩ 医学書院 系統看護学講座 脳・神経 成人看護学⑦ 医学書院				
評価方法	筆記試験 30点/100点(運動器15点・脳神経15点)				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	成人看護学演習	単位数	1	授業時間	30
担当者	教員 ※	学年	1	講義時間	30
				試験時間	課題
科目目標	1. 成人期を対象とした看護過程展開の方法を学ぶ。 2. 成人期の看護に必要な看護技術について演習を通して習得する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 2型糖尿病患者の看護（慢性期）				対面講義
	1) 成人期の2型糖尿病患者の特徴				対面演習
	2) 事例の読み解き				対面演習
2回	3) 情報の分析・解釈				対面演習
3回	4) 看護診断				対面演習
4回	5) 計画立案				対面演習
5回	6) 指導計画の立案				対面GW
6回	7) 全体発表				
7回	2. 肺癌で手術を受ける患者の看護（手術直後～回復期）				対面講義
	・術後合併症の予防・早期回復促進への援助				
	・術後の機能障害と生活制限への援助				
	1) 成人期の肺癌手術療法患者の特徴				対面演習
8回	2) 事例の読み解き				対面演習
9～11回	3) 情報の分析・解釈				対面演習
12回	4) 看護診断				対面演習
13～14回	5) 計画立案				対面GW
15回	6) 全体発表				
テキスト 参考書	成人看護学② 呼吸器 メヂカルフレンド社 成人看護学⑧ 内分泌/栄養・代謝 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 別巻 臨床外科看護学Ⅰ メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 別巻 臨床外科看護学Ⅱ メヂカルフレンド社				
評価方法	課題				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	老年看護学概論	単位数	1	授業時間	15
担当者	教官 ※	学年	1	講義時間	14
				試験時間	1
科目目標	1. 老年期の身体・精神・社会的変化を知り、高齢者の健康課題について理解する。 2. 高齢者を取り巻く社会について学習し、保健医療福祉における課題を理解する。 3. 高齢者の QOL を高めるための看護の役割について考えることができる。 4. 自らの老年観を構築することができる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. 超高齢社会の課題と高齢者の生活を支える社会制度 1) 超高齢社会の人口動態とその特徴 2) 高齢社会における保険医療福祉の動向 ・老人保健制度・介護保険制度・成年後見制度・公的年金制度				対面講義
3回	2. 老年期の発達課題 1) 高齢者の多様性 2) 加齢への適応 3. 高齢者の生活 1) 高齢者の機能と評価 2) 高齢者と家族				対面講義
4・5回	4. 高齢者の健康 1) 高齢者の健康と疾病 2) 加齢に伴う身体機能の変化 3) 加齢に伴う認知機能の変化 4) 加齢に伴う心理・社会的変化				対面講義
6・7回	5. 老年看護の基本 1) 老年看護の成り立ち 2) 老年看護の役割 (1) 老年看護の倫理 (2) 高齢者の権利擁護 ・高齢者差別 (エイジズム)・高齢者虐待・身体拘束 (3) 老年看護に役立つ理論・概念 ・ライフレビュー・コンフォート理論 (4) 高齢者の意思決定への支援 (5) 高齢者のリスクマネジメント				対面講義
テキスト	老年看護学 医学書院 老年看護 病態・疾患論 医学書院				
評価方法	筆記試験				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	老年看護方法論 (褥瘡・ストーマ)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	2	講義時間	4
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 加齢が生活に及ぼす影響とその援助方法が理解できる。 2. 高齢者の健康障害の特徴と援助方法が理解できる。 3. 認知症高齢者の看護が理解できる。 4. 治療を受ける高齢者の看護が理解できる。 5. ハンセン病後遺症で療養している高齢者への看護が理解できる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 皮膚の疾患と看護 1) 褥瘡発生のメカニズム 2) 検査・診断 3) 治療 4) ドレッシング材 5) 褥瘡の評価 6) 褥瘡の予防				対面講義
2回	2. ストーマを造設する患者の看護 1) ストーマ造設前の看護 2) ストーマ造設後の看護 ①ストーマの早期合併症の予防または発見のための援助 ②創感染を予防するための援助 ③ストーマを保有した患者が自立した生活を送るための援助 3) ストーマケアの実際				対面講義
テキスト	老年看護学② 健康障害をもつ高齢者の看護 メヂカルフレンド社 成人看護学⑤ 消化器 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 10点/100点				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	老年看護方法論 (脳神経・高齢者の 暮らしを支える看護)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	2	講義時間	16
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 加齢が生活に及ぼす影響とその援助方法が理解できる。 2. 高齢者の健康障害の特徴と援助方法が理解できる。 3. 認知症高齢者の看護が理解できる。 4. 治療を受ける高齢者の看護が理解できる。 5. ハンセン病後遺症で療養している高齢者への看護が理解できる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1～3回	1. 高齢者特有の症状と高齢者の暮らしを支える援助 1) コミュニケーション障害への援助 2) 転倒予防 3) 誤嚥・窒息予防 4) 尿失禁 5) 脱水予防、 6) 掻痒・スキンケア 7) 痛みへの援助 8) 睡眠障害への援助				対面講義
4・5回	2. 高齢者特有の脳・神経疾患と看護 1) 脳血管障害 2) 慢性硬膜下血腫 3) パーキンソン病 4) うつ病 5) せん妄				対面講義
6・7回	3. 認知症高齢者の看護 1) 中核症状、行動・心理症状 2) コミュニケーション (ユマニチュード)				対面講義
8回	テスト・まとめ				
テキスト	老年看護学① 老年看護学概論 老年保健 メヂカルフレンド社 老年看護学② 健康障害をもつ高齢者の看護 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 60点/100点				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	老年看護方法論 (運動器・リハビリテーション・エンドオブライフ)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	2	講義時間	10
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 加齢が生活に及ぼす影響とその援助方法が理解できる。 2. 高齢者の健康障害の特徴と援助方法が理解できる。 3. 認知症高齢者の看護が理解できる。 4. 治療を受ける高齢者の看護が理解できる。 5. ハンセン病後遺症で療養している高齢者への看護が理解できる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. 高齢者特有の症状・疾患と看護 1) 寝たきり・廃用症候群と看護 2) 運動器の疾患と看護 ①高齢者に多い骨折 ②変形性膝関節症 ③変形性脊椎症 ④骨粗鬆症				対面講義
3・4回	3) リハビリテーション時の高齢者の看護 2. 終末期看護 (エンドオブライフケア) 1) 高齢者の終末期の捉え方 2) 看取りの看護 3) 家族へのグリーフケア				対面講義
5回	3. ハンセン病後遺症をもつ高齢者の看護				対面講義
テキスト	老年看護学① 老年看護学概論 老年保健 メヂカルフレンド社 老年看護学② 健康障害をもつ高齢者の看護 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 30点/100点				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	老年看護学演習	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	2	講義時間	16
				試験時間	課題
科目目標	1. 高齢者の特徴を踏まえ、事例を通して看護過程が展開できる。 2. 高齢者に対する基本的な援助技術を学ぶ。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 高齢者の特徴を踏まえた脳梗塞の患者の看護				対面講義
2～5回	1) 脳梗塞患者の特徴				対面演習
	2) 事例紹介				
6回	3) 情報の分析				
	4) 看護診断				
	5) 計画立案				
7回	6) 全体発表				対面講義
8回	7) 退院調整・退院支援				対面演習
	8) 嚥下障害・構音障害がある義歯を入れている高齢者の口腔ケア				
テキスト	老年看護学① 老年看護学概論 老年保健 メヂカルフレンド社 老年看護学② 健康障害をもつ高齢者の看護 メヂカルフレンド社				
評価方法	課題 50点/100点				
備考					



実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	老年看護学演習	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	2	講義時間	14
				試験時間	課題
科目目標	1. 高齢者の特徴を踏まえ、事例を通して看護過程が展開できる。 2. 高齢者に対する基本的な援助技術を学ぶ。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. ハンセン病後遺症を持つ大腿骨頸部骨折の患者の看護				対面講義
2～5回	1) ハンセン病後遺症患者の特徴				対面演習
	2) 大腿骨頸部骨折患者の特徴				
6回	3) 事例紹介				対面演習
	4) 情報の分析				
7回	5) 看護診断				対面演習
	6) 計画立案				
	7) 全体発表				対面演習
	8) 摘便の援助・おむつ交換				
テキスト	老年看護学① 老年看護学概論 老年保健 メヂカルフレンド社 老年看護学② 健康障害をもつ高齢者の看護 メヂカルフレンド社				
評価方法	課題 50点/100点				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	小児看護学概論	単位数	1	授業時間	15
担当者	教官 ※	学年	1	講義時間	14
				試験時間	1
科目目標	1. 小児期にある対象の特徴が理解できる。 2. 小児看護の役割・機能を理解できる。 3. 子どもの権利を保障することの必要性について理解できる。 4. 母子保健、小児保健のあり方について理解できる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 子どもと家族を取り巻く環境				対面講義
2・3回	2. 小児医療・小児看護の変遷と課題 3. 小児期における成長・発達の特徴と看護				自宅課題
	4. 新生児・乳児・幼児・学童・思春期各期の形態的、機能的、認知的、社会的成長発達 5. 成長・発達の評価				
4回	6. 小児各期における健康増進のための子どもと家族への看護 1) 乳児期・幼児期・学童期・思春期の成長・発達に応じた生活への支援				対面講義
5回	7. 小児における概念と理論 1) エリクソンの自我発達理論、ピアジェの認知発達理論、ボウルビィらの愛着理論、マラーの分離・固体化理論 2) 家族関係に関する概念と理論				対面講義
6回	8. 保健統計からみた小児と健康問題 9. 小児を守る法律と制度 1) 母子保健施策・学校保健対策、児童福祉法、児童虐待防止法 障害者総合支援法、発達障害者支援法 2) 子どもの事故防止と安全教育 3) 予防接種				対面講義
7回	10. 子どもの最善の利益にかなう医療・看護 1) 小児看護と倫理的配慮 2) 子どもの権利と人権：児童の権利に関する条約、児童憲章 3) 虐待防止				対面講義
テキスト	小児看護学① 小児看護学概論 小児保健 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	小児看護方法論	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	1	講義時間	16
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 子どもの発達段階に応じた健康増進の看護について学ぶことができる。 2. 健康障害が子どもや家族に及ぼす影響を理解し、その援助方法について理解できる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 病気や入院が子どもと家族に与える影響 入院中、外来における子どもと家族の看護				対面講義
2・3回	2. 健康問題/障害のある小児に必要な看護技術 1) コミュニケーション技術 2) プレパレーション 3) フィジカルアセスメント 4) 治療に伴う小児看護技術				対面講義
4回	3. 子どもの病気や診療・入院がきょうだい・家族に及ぼす影響と看護 4. 痛みを表現している子どもと家族への看護 5. 活動制限が必要な子どもと家族への看護 6. 感染対策上隔離が必要な子どもと家族への看護				対面講義
5・6回	7. 小児によくみられる疾患とその治療 事例：小児喘息の患児の看護 事例：ファロー四徴症でB-T短絡術を受ける患児の看護 事例：I型糖尿病の患児の看護（思春期）				対面講義
7回	8. 重症心身障害児の看護 痙攣性疾患を持つ子どもと家族の看護				対面講義
8回	テスト・まとめ				対面講義
テキスト	小児看護学②障害をもつ小児の看護 メヂカルフレンド社 小児看護学①小児看護学概論 小児保健				
評価方法	筆記試験 50点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	小児看護方法論	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	14
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 子どもの発達段階に応じた健康増進の看護について学ぶことができる。 2. 健康障害が子どもや家族に及ぼす影響を理解し、その援助方法について理解できる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. 急性期にある子どもと家族への看護 1) 急性的経過をたどる健康問題/障害と看護 2) 急性症状のある子どもと家族への看護 (1) 発熱 (2) 脱水 (3) 下痢・嘔吐 (4) 呼吸困難 (5) けいれん				対面講義
3回	2. 救命処置を要する小児と家族への看護				対面講義
4回	3. 手術を受ける小児と家族への看護				対面講義
5回	4. 慢性期にある子どもと家族への看護 1) 慢性的経過をたどる健康問題/障害と看護 (1) 先天的な問題のある小児と家族 (2) 心身障害のある小児と家族				対面講義
6回	(3) 家庭で療養している慢性疾患のある小児と家族 (4) 在宅で医療的ケアを必要とする小児と家族 (5) 成人期への移行過程を生きる慢性疾患のある小児と家族				対面講義
7回	5. 終末期にある子どもと家族への看護 1) 終末期にある子どもと家族への緩和ケア 6. 特別な状況にある子どもと家族の看護 1) 虐待が疑われる小児と家族 2) 災害に遭遇した小児と家族				対面講義
テキスト	小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	小児看護学演習	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	2	講義時間	30
				試験時間	課題
科目目標	<p>1. 子どもの特徴を踏まえ事例を通して看護過程が展開できる。</p> <p>2. 子どもに対する基本的看護技術の習得ができる。在宅における生活支援の方法を理解する。</p>				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1～4回	<p>1. 看護過程の展開</p> <p>1) ネフローゼ症候群患児の事例展開</p> <p style="text-align: center;">*2号用紙提出</p>				自宅課題
5～8回	<p>1. 看護過程の展開</p> <p>2) 川崎病患児の事例展開</p> <p style="text-align: center;">*実習で使用する記録用紙(1～5号)を使用</p>				自宅課題
9回	川崎病患児の事例展開 解説				対面講義
10回	2. ネフローゼ症候群患児と家族のアセスメント 解説				自宅課題
11回	1. 看護過程の展開				対面講義
12回	2) 川崎病患児の事例展開				対面演習
13回	<p>1. 看護過程の展開</p> <p>2) 川崎病患児と家族のアセスメント 解説</p>				自宅課題
14回	<p>1. アナフィラキシーショックで入院した患児と家族の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの最善の利益を考える</li> <li>・プレパレーションについて考える</li> </ul>				対面講義
15回	<p>1. 採血を嫌がる児へのプレパレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児の理解(成長発達)を踏まえたプレパレーションシナリオ作成</li> </ul> <p>1. まとめ</p>				対面講義
テキスト	<p>小児看護学① 小児看護学概論 小児保健 メヂカルフレンド社</p> <p>小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護 メヂカルフレンド社</p>				
評価方法	課題レポート 2事例				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	母性看護学概論	単位数	1	授業時間	15
担当者	講師	学年	1	講義時間	14
				試験時間	1
科目目標	1. 母性各期において健康に影響を及ぼす諸因子を理解し、母性の健康増進に向けた援助が理解できる。 2. 母性概念が理解できる。 3. 母性看護の倫理と法律について理解できる。 4. 人間の性と生殖について理解できる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. リプロダクティブ・ヘルスに関する看護 1) リプロダクティブ・ヘルスに関する概念 2) 生殖に関する生理 3) リプロダクティブ・ヘルスに関する世界・日本の動向				対面講義
3回	4) リプロダクティブ・ヘルスに関する倫理 5) リプロダクティブ・ヘルスに関する法や施策と支援				対面講義
4・5回	2. 女性のライフサイクル各期における看護 1) 思春期・成熟期女性の健康課題 2) 更年期・老年期女性の健康課題				対面講義
6・7回	3. 妊娠・分娩・産褥期および早期新生児期における看護の対象と基盤となる概念 1) 対象理解の基盤となる概念 2) 看護の基盤となる概念 4. 周産期医療のシステムと母子保健施策 1) 周産期医療のシステム (1) 母体搬送 (2) 新生児搬送 (3) チーム医療 (4) 周産期医療ネットワーク 2) 母子保健法に関する施策の活用 (1) 妊婦健康診査 (2) 新生児訪問指導 (3) 乳幼児健診 (4) 未熟児養育医療と未熟児訪問指導 3) 子育て支援に関する施策の活用 (1) 産前・産後休業、育児休養 (2) 妊娠・出産包括支援 (3) 子ども・子育て支援事業 (4) 在留外国人の母子支援 (5) 災害時の母子支援				対面講義
テキスト	系統看護学講座 母性看護学① 母性看護学概論 医学書院				
評価方法	筆記試験				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	母性看護方法論	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師（妊娠・分娩）	学年	1	講義時間	29
	講師（産褥・新生児）			試験時間	1
科目目標	1. 妊娠・分娩・産褥や新生児の生理的変化と起こりやすい異常兆候について理解できる。 2. 妊娠・分娩・産褥や新生児期の母児に対して援助できる能力を養う。 3. 周産期にある人々の看護を理解して実践できる。 4. 周産期における心身の特徴について理解する。 5. ハイリスクな状況にある人々が理解できる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1～4回	1. 妊娠期の看護 1) 正常な妊娠の経過 2) 妊婦・胎児の健康と生活のアセスメント 3) 妊婦と家族への看護 4) 妊娠期の健康問題に対する看護				対面講義
5～7回	2. 分娩期の看護 1) 正常な分娩の経過 2) 産婦・胎児の健康のアセスメント 3) 産婦と家族への看護 4) 分娩期の健康問題に対する看護				対面講義
8～11回	3. 産褥期の看護 1) 正常な産褥の経過 2) 褥婦の健康と生活のアセスメント 3) 褥婦と家族への看護 4) 産褥期の健康問題に対する看護				対面講義
12～14回	4. 早期新生児期の看護 1) 早期新生児の特徴と生理的変化 2) 早期新生児の健康と発育のアセスメント 3) 早期新生児と家族への看護 4) 早期新生児の健康問題に対する看護				対面講義
15回	テスト・まとめ				対面試験
テキスト	系統看護学講座 母性看護学② 母性看護学各論 医学書院				
評価方法	筆記試験 妊娠・分娩 50点/100点、産褥・早期新生児 50点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	母性看護学演習	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	12
				試験時間	課題
科目目標	1. 母性看護における特有な援助技術を身につける。 2. 褥婦と新生児の看護過程の展開ができる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1～6回	1. 導入：問題解決志向からウェルネス志向へ 2. 褥婦の看護過程 1) 産褥期のアセスメントの視点 (1) 退行性変化 (2) 進行性変化 (3) 心理・適応過程 (4) 家族・適応過程 (5) 生活・社会環境 2) 正常褥婦の看護過程の展開				対面講義 対面演習
テキスト	系統看護学講座 母性看護学② 母性看護学各論 医学書院 太田 操 編：ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程 医歯薬出版				
評価方法	課題 40点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				



実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	母性看護学演習	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	8
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 母性看護における特有な援助技術を身につける。 2. 褥婦と新生児の看護過程の展開ができる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1～4回	1. 新生児の看護過程 1) 新生児期のアセスメントの視点 (1) 健康状態 (2) 成長・発達 (3) 栄養・養護 (4) 家族・適応過程 (5) 生活環境 2) 正常新生児の看護過程の展開				対面演習
テキスト	系統看護学講座 母性看護学② 母性看護学各論 医学書院 太田 操 編：ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程 医歯薬出版				
評価方法	課題 30点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	母性看護学演習	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	10
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 母性看護における特有な援助技術を身につける。 2. 褥婦と新生児の看護過程の展開ができる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. 褥婦のケア 胎児心音聴取・レオポルド触診法・呼吸法 乳房マッサージ・子宮底の計測				対面演習
3～5回	2. 新生児のケア バイタルサイン測定・身体測定・頭部の計測・沐浴 おむつ交換・衣類の着脱・清潔・授乳方法・排気方法 抱き方・寝かせ方				対面演習
テキスト	系統看護学講座 母性看護学② 母性看護学各論 医学書院				
評価方法	筆記試験 30点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	精神看護学概論	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	29
				試験時間	1
科目目標	1. 精神看護の変遷を知り、精神看護学の概念が理解できる。 2. ライフサイクルと精神の発達危機について理解できる。 3. 精神看護の対象及び看護の目的が理解できる。 4. 精神看護におけるリスクマネジメントが理解できる。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 精神看護学の概要				対面講義
2～4回	2. 「精神（心）」のとらえかた 1) 脳の構造と認知機能 2) 精神（心）の構造とはたらき				対面講義
5・6回	3. 精神「心」の発達に関する主要な考え方 1) エリクソンの漸成的発達理論 2) ボウルビィの愛着理論 3) マーラーとスターンの発達理論 4) マズローの欲求の5段階説 5) ピアジェの認知発達理論				対面講義
7回	4. 家族と精神（心）の健康				対面講義
8回	5. 暮らしの場と精神（心）の健康				対面講義
9回	6. 精神（心）の危機的状況と精神保健 1) 危機理論 2) ストレスコーピング 3) 適応と不適応 4) セルフマネジメント				対面講義
10～13回	7. 現代社会と精神（心）の健康 1) 社会構造の変化と社会病理 2) 現代社会における精神保健の主な問題 (1) ドメスティック・バイオレンス (2) ひきこもり (3) 職場におけるハラスメント (4) 自殺 (5) 不登校 (6) いじめ (7) 自傷行為 (8) 虐待 (9) 犯罪 (10) アルコール依存 (11) 薬物問題 (12) 依存				対面講義
14回	8. 精神保健医療福祉の歴史と現在の姿				対面講義
15回	テスト・まとめ				対面試験
テキスト	精神看護学① 精神看護学概論 精神保健 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	精神看護学方法論	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	29
				試験時間	1
科目目標	1. 精神看護の基本技術を学び、対象理解及び援助に必要な働きかけを理解する。 2. 診察・検査治療を受ける対象に必要な看護が理解できる。 3. 障害を持ちながら生活する対象に必要な支援方法を理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 精神障害をもつ人「患者－看護師」関係の構築				対面講義
2回	1) 精神障害をもつ人とのかかわりかた				対面講義
3回	2) 精神障害をもつ人とのコミュニケーション 3) 精神障害をもつ人との関係の振り返り				
3回	2. 精神障害をもつ人への看護援助の展開				対面講義
4回	1) 看護援助の基本構造				対面講義
5～7回	2) 精神障害をもつ人のセルフケアの援助 (1) オレム理論 (2) オレム－アンダーウッド理論				
8～10回	3) 患者による自己管理				
11・12回	3. 精神科病棟という治療的環境と患者の生活				対面講義
13・14回	1) 精神障害をもつ人にとっての入院の意味				対面講義
15回	2) 治療的環境の整備 3) 事故防止・安全管理と倫理的配慮				
15回	4. 精神疾患・障害をもつ人への看護				対面講義
	1) 統合失調症 2) うつ病 3) 双極性障害				対面講義
	4) 妄想性障害				
	5) アルコール依存 6) 強迫性障害 7) 摂食障害				
	8) 注意欠如・多動性障害 9) 自閉症スペクトラム				対面講義
	5. 地域精神保健福祉と社会参加				対面講義
	6. 我が国の精神看護の発展				対面試験
	1) リエゾン精神看護				
	2) 司法精神医学と看護				
	3) 災害時の精神保健				
	テスト・まとめ				
テキスト	精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	精神看護学演習	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	1	講義時間	29
				試験時間	1
科目目標	1. 精神に障害をもつ対象のアセスメント・看護診断・目標設定について理解できる。 2. 対象との関わりをプロセスレコードによって振り返りができる方法を身につける。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1～4回	1. 精神に障害をもつ対象の看護過程 1) 統合失調症の患者の看護 2) うつ病患者の看護 3) 神経症患者の看護 4) 物質依存のある患者の看護				対面講義 ・GW
5～7回					
8・9回					
10・11回					
12～14回	2. プロセスレコード 1) プロセスレコードの書き方 2) プロセスレコードによる振り返りの実際				対面演習
15回	テスト・まとめ				対面試験
テキスト	精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 看護過程演習 80点/100点、プロセスレコード 20点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	在宅看護概論	単位数	1	授業時間	15
担当者	教官 ※	学年	2	講義時間	14
				試験時間	1
科目目標	1. 地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、在宅における看護について理解する。 2. 在宅看護の意義と役割を理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 地域療養における在宅看護の機能・理念と社会的背景				対面講義
2回	1) 在宅看護を必要とする社会的課題と、訪問看護の変遷 課題テーマ 1回目で学習した社会背景から在宅療養が推進される理由と在宅療養を推進していくための課題を考えてください。				自宅学習 (課題)
3回	2) 在宅看護の基盤・在宅看護の基本概念 アドボカシー・エンパワメント・パートナーシップ 自己効力感・ストレングス				対面講義
4回	課題テーマ 上記5つの概念の中から1つを選び、基本理念を踏まえた看護実習体験場面を400字以内説明し、上記理念を踏まえた看護を实践する上での自己の課題を述べてください				自宅学習 (課題)
5回	2. 在宅看護の対象と、在宅療養の成立要件 3. 在宅療養者の場における家族 1) 家族の特徴と機能(家族理論) 2) 在宅療養を支える家族を捉える視点(事例) 3) 家族のアセスメントと調整・支援				対面講義
6回	4. 地域包括ケアシステムについて 1) 地域包括ケアシステムと生活の場に応じた看護サービス 2) 地域包括支援センターの機能				対面講義
7回	5. 訪問看護制度の法的枠組みと、地域療養を支える制度 1) 介護保険法 2) 健康保険法(地域医療構想) 3) 障害者総合支援法				対面講義
テキスト	在宅看護論地域療養を支えるケア①		MC メディカ出版		
	在宅療養を支える技術②		MC メディカ出版		
評価方法	筆記試験				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	在宅看護方法論 I	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	2	講義時間	29
				試験時間	1
科目目標	1. 在宅看護を展開するための援助方法と基礎的技術を身につける。 2. 在宅における日常生活を支える看護を理解する。(生活援助用具とその利用方法を理解する。)				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 在宅におけるコミュニケーションの基本 2. 家庭訪問時の基本姿勢とコミュニケーション 訪問の手順と倫理・心構え・実習における同行訪問 2)コミュニケーション障害のある療養者の特徴と支援				対面講義
2～4回	3. 訪問看護記録の内容と留意点 4. 在宅看護に必要な技法 1) 面接・相談・調整技術 2) 観察（フィジカルアセスメント）技術 5. 在宅看護に必要な技法の実際 初回訪問時の対応のロールプレイ（含血圧測定）				対面講義 対面演習
5～8回	6. 在宅療養を支える看護 1) 日常生活(食事・排泄・睡眠・清潔)の援助 2) 日常生活を支える家族への支援と社会資源の活用 3) 在宅における入浴介助（演習）				対面講義
9～14回	7. 在宅における看護技術 1) 在宅における医療ケアの原則 2) 在宅における薬物療法と服薬管理 3) 在宅における医療処置を伴う看護 ・在宅経管栄養、在宅中心静脈栄養法（演習） ・在宅における膀胱留置カテーテルの管理・感染予防 ・褥瘡管理 4) 在宅における看取り（終末期の看護）				対面演習 対面講義 対面演習
15回	テスト・まとめ				対面試験
テキスト	在宅看護論地域療養を支えるケア①	MC メディカ出版			
	在宅療養を支える技術②	MC メディカ出版			
評価方法	筆記試験				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	在宅看護方法論Ⅱ	単位数	1	授業時間	15
担当者	教官 ※	学年	2	講義時間	15
				試験時間	課題
科目目標	1. 在宅看護を展開するための方法を理解する。 2. 社会資源を活用し、他職種と協働する中での看護の展開を理解する。 ※地域包括ケアシステムにおける在宅看護の位置づけと看護の役割を理解する				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 地域包括ケアにおけるケアマネジメント P95				対面講義
2回	1) 看護が担うケアマネジメント・ケースマネジメント 2) 介護保険制度におけるケアマネジメント 3) ケースマネジメントの展開 課題 団地 A さんの事例 (別紙参照)				
3回	3. 地域包括支援センターの活動の実際				Web 講義 (課題)
4回	1) 課題の解説 (ケースマネジメント) 2) 東村山市の地域包括支援センターの活動 3) 社会資源の活用と多職種連携				
5回	4. 療養の場の移行に伴う看護職の役割 P77				対面講義
6回	1) 看護職による継続看護の体系と調整者としての機能 2) 地域連携クリニカルパスと、多職種連携における看護職の役割				
7回	5. 在宅における安全と健康危機管理				対面講義
	1) 在宅療養における安全管理・感染管理 2) 災害時における在宅療養者と家族の健康危機管理				
	6. 在宅看護における権利の保障				実習後 対面演習
	成年後見制度・個人情報の保護と管理・虐待の防止 7. 地域包括支援センターにおける介入事例の実際 地域包括支援センターで実習した事例を様式にまとめ、発表				
テキスト	在宅看護論地域療養を支えるケア①		MC メディカ出版		
	在宅療養を支える技術②		MC メディカ出版		
評価方法	課題				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				



実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	在宅看護論演習	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	2	講義時間	29
				試験時間	1
科目目標	1. 在宅における生活支援の方法を理解する。 2. 在宅における医療管理を必要とする人とその看護を理解する。 3. さまざまな事例から、状態に応じた看護を理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1 在宅における看護過程の展開				対面講義
2回	1) 在宅看護過程の特徴 2) 看護過程の考え方・基本構造（国際生活機能分類の活用） 3) 初回訪問時に収集が必要な情報の整理 4) 4側面からのアセスメント 関連図 5) 援助計画				
3回	事例展開演習（GW）3人×3＋4人 グループで事例展開ワーク				対面講義
4回	事例展開演習（自宅学習課題）				自宅課題
5回	事例解説				対面講義
6回	3. 事例展開（訪問看護4事例の中から1事例を選択し、展開）				対面講義
7回	1) 事例展開演習				対面演習
8回	2) 事例展開演習発表				対面発表
9回	4. 看護小規模多機能型居宅介護・地域包括ケア病棟において医療管理を必要とする人への看護連携の実際（支援）				対面講義
10回	5. 地域包括支援センターにおける相談事業の展開の実際				対面講義
11回	6. 在宅酸素演習（TELJIN）				対面演習
12回	7. 障害者自立支援・母子保健事業における自治体の看護職の役割 子ども・障害者の在宅療養を支える制度を活用した療養事例				対面講義
13回	8. 訪問看護 ST で見学した事例の看護計画（事例共有）				実習後 対面演習
14回					対面演習
テキスト	在宅看護論地域療養を支えるケア①		MC メディカ出版		
	在宅療養を支える技術②		MC メディカ出版		
評価方法	筆記試験+課題				
備考	13・14回は在宅看護実習中に見学した事例についての共有 8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	看護管理	単位数	1	授業時間	15
担当者	講師	学年	2	講義時間	14
				試験時間	1
科目目標	1. 看護管理の目的と機能について理解できる。 2. 組織の一員としての看護師の役割や行動が理解できる。 3. リーダーシップとメンバーシップ、マネジメントの基礎を理解する。 4. 看護を経営的・経済的側面から考える。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 看護を取り巻く諸制度				対面講義
2回	2. マネジメントに必要な知識と技術				対面講義
3回	3. 看護とマネジメント				対面講義
4回	4. 看護ケアのマネジメント 1) 患者の権利 2) 安全管理 3) チーム医療 4) 看護業務の実践				対面講義
5・6回	5. 看護サービスのマネジメント 1) 看護サービス 2) 組織目標 3) 看護サービスのしくみ 4) 人材・労働環境 5) 施設・設備環境 6) 物品 7) 情報 8) 評価				対面講義
7回	6. 看護職のキャリアマネジメント				対面講義
テキスト	系統看護学講座 看護の統合と実践① 看護管理 医学書院				
評価方法	筆記試験				
備考					

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	医療安全	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	2	講義時間	29
				試験時間	1
科目目標	1. 医療における安全管理（リスクマネジメント・セイフティマネジメント）の必要性を理解する。 2. 医療事故の事例から、安全管理の方法を理解する。 3. 医療チームにおける情報伝達・共有の必要性が理解できる。 4. 管理の視点から院内感染予防対策を理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	1. 医療安全を学ぶことの大切さ				対面講義
	2. 事故防止の考え方を学ぶ				
3～5回	3. 診療の補助の事故防止 患者に投与する業務における事故防止				対面講義
6～8回	4. 診療の補助の事故防止 継続中の危険な医療行為の観察・管理における事故防止				
9回	5. 療養上の世話の事故防止				対面講義
10回	6. 業務領域をこえて共通する間違いと発生要因				対面講義
11回	7. 医療安全とコミュニケーション				対面講義
12回	8. 看護師の労働安全衛生上の事故防止				対面講義
13回	9. 組織的な安全管理体制への取り組み				対面講義
14回	10. 医療安全対策の国内外の潮流				対面講義
15回	テスト・まとめ				対面試験
テキスト	系統看護学講座 看護の統合と実践② 医療安全 医学書院				
評価方法	筆記試験				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	臨床看護技術演習	単位数	1	授業時間	30
担当者	教官 ※	学年	2	講義時間	30
				試験時間	課題
科目目標	<p>1. 知識・技術・態度を統合し、模擬患者に応じた安全・安楽な援助を実施できる。</p> <p>2. 複数患者の事例を通して、対象のおかれている場・状況・状態に応じて多重課題の優先度を考える事ができる。</p>				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1・2回	<p>1. 複合技術を必要とする患者の援助</p> <p>1) オリエンテーション 2) 事例紹介 3) アセスメント</p> <p>4) 計画立案</p> <p>※ 課題について必要な援助方法を考える。</p>				対面講義 対面演習
3回	<p>(技術) 患者 A に対する点滴静脈内注射の実施</p> <p>(技術) 心電図モニタリング中の患者の観察</p>				対面講義・ 対面GW 対面演習
4回	<p>2. 計画した内容をグループごとに実施、発表内容の検討</p> <p>実施 (ロールプレイ)</p>				対面GW
5回	<p>3. 発表・振り返り</p>				対面演習
6~12回	<p>4. 多重課題による優先順位の選択</p> <p>1) 多重課題の危険性 2) 多重課題発生時の対処の原則</p> <p>3) 事例紹介 4) アセスメント</p> <p>5) 根拠を明確にしながら優先順位判断と時間配分を考慮した援助を考える</p>				対面講義 対面GW
13回	<p>6) 計画立案</p>				対面演習 対面演習
14回	<p>7) 実施 (ロールプレイ)</p>				
15回	<p>8) 発表 (グループごとに実施・発表)</p> <p>9) 質疑応答、ふりかえり 10) まとめ</p> <p>※ 実施の振り返りから計画の追加・修正を行い再提出</p>				
テキスト 参考書	<p>基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社</p> <p>基礎看護学④ 臨床看護総論 メヂカルフレンド社</p> <p>基礎・臨床看護技術 医学書院</p> <p>系統看護学講座 看護の統合と実践① 看護管理 ②医療安全 医学書院</p> <p>看護診断ハンドブック 医学書院</p>				
評価方法	個人ワークの課題、グループワークの課題				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	国際・災害看護 (国際看護)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	2	講義時間	14
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 国際看護学の意義、概念を理解する。 2. 世界的な健康問題と健康格差の現状と問題解決に向けた取り組みを理解する。 3. 異なる社会・文化的背景をもつ人々の健康課題を知り、対象の社会・文化的背景を尊重した看護の実際について理解する。 4. 世界と日本の国際協力の組織および活動の実際について理解する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 国際看護学を学ぶ意義				対面講義
2回	2. 国際看護学の概念				対面講義
3回	3. 世界の健康問題と健康格差				対面講義
4回	4. ミレニアム開発目標から SDG s (持続可能な開発目標) へ				対面講義
5回	5. 国際保健における日本の役割				対面講義
6回	6. 国際社会における看護の対象 1) 在日外国人に対する看護活動 2) 海外における看護活動				対面講義
7回	7. 国際看護活動を推進する人と機関				対面講義
テキスト	看護の統合と実践③ 国際看護学 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験 50点/100点				
備考	8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				

実務経験のある講師の科目には担当者欄に※を付けています。

授業科目	国際・災害看護 (災害看護)	単位数	1	授業時間	30
担当者	講師	学年	2	講義時間	14
				試験時間	別紙参照
科目目標	1. 災害の種類と特徴を理解する。 2. わが国の災害医療体制を知り、災害発生時の国・自治体等の対応を理解する。 3. 災害各期の特徴と各期の保健医療ニーズに応じた医療・看護活動を理解する。 4. 災害時に必要な基礎的技術を習得する。				
回	授業計画・学習内容				授業形態
1回	1. 災害の種類と特徴 1) 自然災害 2) 人為的災害 3) 特殊災害				対面講義
2回	2. 災害医療と災害看護				対面講義
3回	3. 災害発生時の対応 1) 災害と法制度 2) わが国の災害医療体制				対面講義
4回	4. 災害看護の特徴				対面講義
5回	5. 災害サイクルと災害各期の特徴				対面講義
6・7回	6. 災害各期の医療・看護活動 7. 災害時に必要な技術 1) トリアージ 2) 搬送 3) 応急処置、CPR				対面講義 対面演習
テキスト	看護の統合と実践② 災害看護学 メヂカルフレンド社				
評価方法	筆記試験				
備考	ポケットマスクを各自準備する。 8月以降の授業形態は COVID-19 感染状況により変更します。				